BOOK NEWS from MARUZEN-YUSHODO

2023.11.01 作成

2023 年 10 月新聞書評に掲載された本

百鬼園事件帖

三上　延 著
KADOKAWA
昭和初頭の神楽坂。大学生の甘木は教授で作家の内田百間と親しくなる。先生と行動をともにするうち、甘木は徐々に得体の知れない怪奇現象に巻きこまれるようになり…。『文芸カドカワ』他掲載に書き下ろしを加え単行本化。

産経新聞 2023/10/01

2023:9./ 249p
978-4-04-113186-2
¥1,760〔税込〕

日本美術・この一点への旅

山下 裕二 著
集英社
この作品を見るために旅しよう! 47 都道府県を網羅し、縄文から平成まで、ぜひ見てほしい日本美術の名作や知られざる逸品をオールカラーで詳しく解説する。『エクラ』連載を加筆し書籍化。データ:2023 年 9 月現在。

産経新聞 2023/10/01

2023:9./ 159p
978-4-08-781742-3
¥2,420〔税込〕

こんな感じで書いてます

群 ようこ 著
新潮社
書き始めの苦しみ、対象との距離感、「書く」と「読む」のバランス、まとはずれな誹謗中傷のやり過ごし方、前期高齢者になってからの変化…。群ようこが物書き生活のなかで考えてきたことを綴る。『小説新潮』連載を単行本化。

産経新聞 2023/10/01

2023:9./ 206p
978-4-10-367414-6
¥1,540〔税込〕

賢治と「星」を見る

渡部 潤一 著
ＮＨＫ出版
宮沢賢治は当時最新の天文学にどのように触れていたのか。彼の思想は、詩や童話に描かれた天体にどう反映されているのか。天文学者の目を通して賢治作品を読む。NHK『コズミックフロント』ホームページ掲載を加筆し書籍化。

産経新聞 2023/10/01

2023:8./ 253p
978-4-14-081944-9
¥1,815〔税込〕

●ご注文の際には，タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
●原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
●ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部（課）までお申し付けください。
●表示価格は 2023 年 10 月時点での税込み価格です。

MARUZEN-YUSHODO
丸善雄松堂株式会社 ［学術情報ソリューション事業部 企画開発統括部］
〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-18 国際浜松町ビル
URL kw.maruzen.co.jp　　Email: marketing@maruzen.co.jp

街場の成熟論

内田 樹 著
文藝春秋
複雑な話は「複雑なまま」扱ったほうがよい、ものごとは原理よりも「程度」の問題で考える…。親切、品位、勇気など、失われゆく徳目を明らかにし、市民的成熟へと誘う本。様々な媒体に寄稿した原稿をもとに書籍化。

産経新聞 2023/10/01

2023:9./ 294p
978-4-16-391756-6
¥1,760〔税込〕

リーダーシップは歴史に学べ(文春新書　1426)

山内 昌之 著
文藝春秋
混沌とした現代を導く真のリーダーシップとは何か? 古代ローマの賢人、唐の皇帝、ルネサンスの文人などの言葉や、ちょっと意外なエピソードを引きつつ、過去から今日までのさまざまな出来事を論じる。

産経新聞 2023/10/01

2023:9./ 255p
978-4-16-661426-4
¥1,155〔税込〕

時々、死んだふり(ポプラ新書 244)

横尾　忠則 著
ポプラ社
心身が衰え、以前のように絵筆が握れなくなったことを「新たな画風」とポジティブに考える。制限のある状態をむしろ「自然体」と受け止め、自分の変化を楽しむ-。87 歳美術家が、描くこと、生きることを語る。

産経新聞 2023/10/01

2023:9./ 188p
978-4-591-17897-3
¥979〔税込〕

本のある空間採集〜個人書店・私設図書館・ブックカフェの寸法〜

政木 哲也 著
学芸出版社
世界地図を体現したギャラリー型書架、一箱本棚でつくる商店街の図書館…。全国の個人書店・私設図書館・ブックカフェなど、様々な「本のある空間」を訪ねて実測。斜め上から見下ろすアイソメ図とともに紹介する。

産経新聞 2023/10/01

2023:8./ 190p
978-4-7615-2861-4
¥2,750〔税込〕

楠木正成 河内熱風録

増田 晶文 著
草思社
いうとくけど、わしは損得で動かんのじゃ! 河内の民と楠木一党の土ン侍たち、そして家族をこよなく愛した楠木正成。雌伏、蜂起、合戦、討幕…。新しい時代を求め、熱風のごとく駆け抜けた激動の 5 年間を描く。

産経新聞 2023/10/01

2023:9./ 509p
978-4-7942-2637-2
¥3,080〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

昭和史百冊

平山 周吉 著
草思社
戦争はなぜ起きたのか。「昭和」最大の謎を極めるために、いま、どんな本を読んだらいいのか。著者が『新潮 45』と『週刊ポスト』で書いてきた書評の中から昭和史関係のものを集め、書下ろしの書評を加え百冊を紹介する。

産経新聞 2023/10/01

2023:8./ 373p
978-4-7942-2670-9
¥2,750〔税込〕

美術の愉しみ方～カラー版～(中公新書　2771)

山梨俊夫 著
中央公論新社
多彩な美の世界の愉しみ方の極意をプロが伝授。「好きを見つける」「読む」「比べる」「参加する」「判る」といった 7 つの視点から、東西の珠玉の名品・名画の魅力を読み解く。カラー図版 80 点収録。

産経新聞 2023/10/01、日本経済新聞 2023/10/14

2023:9./ 6p,192p
978-4-12-102771-9
¥1,100〔税込〕

事務に踊る人々

阿部 公彦 著
講談社
事務。それは人間を人間たらしめる究極の知恵-。時に文豪を苦しめ、戦争を阻止し、巨額の損失を生み、ついには死の世界を垣間見せる事務の営みから人間のあり方を再考する。『群像』連載に書き下ろしを加えて単行本化。

産経新聞 2023/10/07

2023:9./ 388p
978-4-06-532946-7
¥2,090〔税込〕

隋～「流星王朝」の光芒～(中公新書　2769)

平田陽一郎 著
中央公論新社
581 年に誕生した隋王朝。南朝、高句麗といったライバルが割拠したユーラシア大陸東部の変動を視野に、北方から興隆し、流星のように消えた軌跡を描く。帝国を拡大した末に破滅した、煬帝の実像にも迫る。

産経新聞 2023/10/07

2023:9./ 6p,314p
978-4-12-102769-6
¥1,100〔税込〕

おいしいアンソロジー ビール～今日もゴクゴク、喉がなる～(だいわ文庫 459-3D)

阿川　佐和子 著
大和書房
カラカラになった体に流し込むビール、こだわりの注ぎ方で泡まで楽しむ瓶ビール…。川上弘美「妻に似ている」、椎名誠「生のモンダイ」、開高健「ピルゼンのピルゼン」など、ビールにまつわるエッセイ 44 篇を収録。

産経新聞 2023/10/07

2023:7./ 268p
978-4-479-32062-3
¥880〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

顔面放談

姫野 カオルコ 著
集英社
独自の小説世界を織り成しつづける姫野カオルコは稀代の「顔マニア」でもあった! 姫野カオルコの並々ならぬ観察眼が炸裂する捧腹絶倒のマニアック・エッセイ。『青春と読書』連載を加筆修正。

産経新聞 2023/10/08

2023:9./ 233p
978-4-08-788088-5
¥1,760〔税込〕

気候安全保障の論理～気候変動の地政学リスク～

関山健 著
日経ＢＰ社
気候変動が遠因となって起きる紛争や暴動から国や社会を守る「気候安全保障」。気候変動と紛争との相関、気候変動対策がもたらす地政学上の変化など、気候安全保障に関する知見をまとめる。

産経新聞 2023/10/08

2023:5./ 6p,226p
978-4-296-11813-7
¥2,970〔税込〕

自然災害で変わる歴史が変わる!

国書刊行会
社会を変える疫病、世界を変える火山噴火、国を変える地震、未来を変える温暖化…。自然災害と人類の歴史の関わりを、豊富な写真や図、地図とともにわかりやすく解説。自然災害と歴史を関連づけた年表付き。

産経新聞 2023/10/08

2023:5./ 128p
978-4-336-07428-7
¥4,180〔税込〕

太閤暗殺～秀吉と本因坊～

坂岡 真 著
幻冬舎
慶長 19 年、本因坊算砂は徳川家康に呼び出される。信長・秀吉・家康の囲碁の師匠として対局を重ねた算砂。この男だからこそ知り得た豊臣家の秘密と天下人の死の真相とは? 『北羽新報』他連載を改題し、加筆・修正。

産経新聞 2023/10/08

2023:9./ 360p
978-4-344-04085-4
¥1,980〔税込〕

すばらしい医学～あなたの体の謎に迫る知的冒険～

山本　健人 著
ダイヤモンド社
人体の優れた構造から、医学史を変えた薬、手術の歴史に革命を起こした外科医、手術機器の進歩、人体に危機を及ぼす放射線やウイルスの脅威まで、現役外科医が人体と医学の面白くて奥深い話を紹介する。

産経新聞 2023/10/08

2023:9./ 385p
978-4-478-11801-6
¥1,870〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

南北戦争を戦った日本人～幕末の環太平洋移民史～(筑摩選書　0264)

菅（七戸）　美弥／北村 新三 著

筑摩書房

南北戦争の兵役記録にある日本生まれの 2 人の兵士。なぜ、彼らはそこに居たのか。人の移動が厳しく制限されていた日本を離れ、アメリカに生きた/生きねばならなかった彼らの消息を、日米両国の資料から丹念に探査する。

産経新聞 2023/10/08

2023:9./ 286p
978-4-480-01781-9
¥1,870〔税込〕

源氏物語を楽しむための王朝貴族入門(歴史文化ライブラリー　578)

繁田　信一 著

吉川弘文館

「源氏物語」で光源氏や頭中将らが活躍する宮廷は、史実と異なる設定で描かれている。実際の王朝社会とは、どこがどのように違ったのか。貴族たちの日常生活や仕事をわかりやすく解説する。

産経新聞 2023/10/08

2023:10./ 5p,230p
978-4-642-05978-7
¥1,870〔税込〕

光と闇と色のことば辞典

山口 謠司 著

エクスナレッジ

宝石の輝き、煌く空模様、夜の闇、暗い心情、四季の色などのテーマごとに、関連語や類語等を掲載し、どう使われているかを例とともに紹介する。色の解説には色見本と RGB 値・CMYK 値付き。

産経新聞 2023/10/08

2023:7./ 223p
978-4-7678-3157-2
¥2,420〔税込〕

ぐうたら神父の山日誌

伊藤　淳 著

女子パウロ会

山は神に出会う場所-。著者が登山の楽しさを知った中学時代から、大学生、社会人を経て、カトリック司祭になっても続く登山歴。その中から国内外の 17 名山を、軽妙な語り口で紹介する。

産経新聞 2023/10/08

2023:6./ 251p
978-4-7896-0835-0
¥1,650〔税込〕

ちぎれた鎖と光の切れ端

荒木 あかね 著

講談社

孤島に集まった 8 人の男女。樋藤清嗣は自分以外の客を全員殺すつもりでいた。樋藤が逡巡していると滞在初日の夜、参加者の 1 人が舌を切り取られた死体となって発見された。たてつづけに第二第三の殺人が起きて…。

産経新聞 2023/10/08、日本経済新聞 2023/10/14

2023:8./ 460p
978-4-06-532846-0
¥2,090〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

イーロン・マスク<上>

ウォルター・アイザックソン 著
文藝春秋
ペイパル(金融決済)、テスラ(電気自動車)、スペース X(宇宙開発)、そして X…。ときに軋轢を起こすも、テクノロジーで人類を進化させてきたイーロン・マスク。悩める天才の真の姿を赤裸々に描いた公式伝記。

産経新聞 2023/10/14

2023:9./ 462p,13p
978-4-16-391730-6
¥2,420〔税込〕

イーロン・マスク<下>

ウォルター・アイザックソン 著
文藝春秋
ペイパル(金融決済)、テスラ(電気自動車)、スペース X(宇宙開発)、そして X…。ときに軋轢を起こすも、テクノロジーで人類を進化させてきたイーロン・マスク。悩める天才の真の姿を赤裸々に描いた公式伝記。

産経新聞 2023/10/14

2023:9./ 449p,10p
978-4-16-391731-3
¥2,420〔税込〕

この世界からは出ていくけれど

キム・チョヨプ 著
早川書房
芸術を見て楽しめない特殊な障害を持つマリがダンスのレッスンを希望してきた。彼女が踊る目的とは? 韓国新世代 SF 作家の旗手が贈る、優しさと希望に満ちた 7 篇。「わたしたちが光の速さで進めないなら」に続く第 2 短篇集。

産経新聞 2023/10/14、読売新聞 2023/10/29

2023:9./ 292p
978-4-15-210268-3
¥2,640〔税込〕

ハンティング・タイム

ジェフリー・ディーヴァー 著
文藝春秋
逃亡する優秀なエンジニア母娘と追う暴力のプロ。熾烈な追撃と反撃の末に明らかになる真実とは。反転する構図、二重底三重底の策謀、伏線と見えぬ伏線…。サプライズ・ミステリ。

産経新聞 2023/10/15

2023:9./ 377p
978-4-16-391758-0
¥3,080〔税込〕

ルミネッセンス

窪美澄 著
光文社
低層の団地群を抱くその町は寂れていた。その土地で人々が交わすどこか歪な睦み。終着点は見えている。だから、輝きに焦がれた。燃え尽きてもいいから-。ダークサイドで染め上げられた連作短編集。『小説宝石』掲載を書籍化。

産経新聞 2023/10/15

2023:7./ 189p
978-4-334-91538-4
¥1,650〔税込〕

人間国宝という生き方～工芸の匠 30 人～

渡辺紀子／株式会社三越伊勢丹 著
淡交社
30 人の人間国宝の工芸作家たちを取材し、最高峰の技術とものづくりに対する真摯な思いを持つ彼らの人生を丁寧に紹介する。作品・創作プロセスの写真も掲載。日本橋三越本店会報誌連載を基に加筆、再編集し単行本化。

産経新聞 2023/10/15

2023:9./ 357p
978-4-473-04567-6
¥3,520〔税込〕

アメリカ文学と大統領～文学史と文化史～

南雲堂
従来は主に歴史や政治のなかに位置づけられてきたアメリカ大統領について文化や文学の視座から考察。大統領をも文学者とみなし、建国の父祖からトランプ時代まで、大統領の歴史と文学思想史の共犯関係を読み解く。

産経新聞 2023/10/15

2023:7./ 537p
978-4-523-29333-0
¥6,380〔税込〕

古墳を築く(歴史文化ライブラリー　577)

一瀬　和夫 著
吉川弘文館
弥生時代にはじまる墳丘をもつ墓は、前方後円墳など巨大古墳を経て群集墓や横穴式石室の出現にいたる。墳丘形態の変化から、文化の浸透や集団のネットワーク等を解き明かし、巨大な古墳がいかに築造されたのかを問う。

産経新聞 2023/10/15

2023:10./ 6p,249p,3p
978-4-642-05977-0
¥1,980〔税込〕

細部から読みとく西洋美術～めくるめく名作鑑賞 100～

スージー・ホッジ 著
フィルムアート社
絵画や彫刻を「もっとよく見たい」すべての美術ファンの好奇心に応えるビジュアルブック。ルネサンスから現代までの西洋美術の名作 100 点の細部に注目し、拡大図版とともに考察・分析する。

産経新聞 2023/10/15

2023:9./ 439p
978-4-8459-2119-5
¥4,180〔税込〕

私は日本狼アレルギーかもしれないがもう分からない～田中有芽子歌集～

田中　有芽子 著
左右社
足引きの山折り谷折り組み立て式付録は自分でやってよ 旅人の振りして街を歩いてるほんとはここに住んでんだけど 奇想が充ち溢れた歌集。穂村弘の解説も収録。オンデマンド版に新作を加えて書籍化。

産経新聞 2023/10/15

2023:10./ 190p
978-4-86528-388-4
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

こども法医学～親子でなっとく!事件をかいぼう!～

岩瀬博太郎 著
ライフサイエンス出版
法医学の真の目的は、いま現在生きている人の安全や権利を守ること。日本の法医学の第一人者が、どのような視点で事件・事故と向きあっているのか、わかりやすく解説。具体的な事件や事故の事例も取り上げる。

産経新聞 2023/10/15

2023:10./ 144p
978-4-89775-470-3
¥1,760〔税込〕

特攻服少女と 1825 日

比嘉 健二 著
小学館
バブルの狂乱を尻目に、進むべき道を探して特攻服で街をさまよう少女たち。彼女たちに寄り添った伝説の雑誌を舞台に、スリルと熱に満ちた青春の日々を振り返る。当時の誌面を飾った人気レディースたちの「その後」も描く。

産経新聞 2023/10/15、毎日新聞 2023/10/21

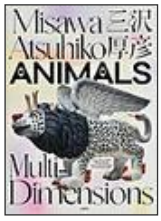
2023:7./ 255p
978-4-09-389122-6
¥1,650〔税込〕

花房さくら木彫作品集～2014～2023～

花房 さくら 著
実業之日本社
猫をモチーフとした木彫作品を生み出す彫刻家、花房さくらの初作品集。2014 年の卒業制作から 2023 年の最新シリーズまでの作品をほぼ網羅。淡路島での制作の様子や、小説家・角田光代との特別対談も収録する。

産経新聞 2023/10/21

2023:7./ 129p
978-4-408-64095-2
¥2,970〔税込〕



三沢厚彦 ANIMALS Multi‐dimensions

三沢 厚彦 著
求龍堂
クスノキで等身大の動物を彫り、油絵具で彩色する彫刻家・三沢厚彦の、2023 年開催の千葉市美術館での個展の図録。展示風景や約 140 点の作品を紹介する。中沢新一の寄稿、彫刻家・舟越桂との対談なども収録する。

産経新聞 2023/10/21

2023:8./ 224p
978-4-7630-2321-6
¥3,850〔税込〕

近畿地方のある場所について

背筋 著
KADOKAWA
オカルト雑誌に掲載するため、ライターの私と編集者の小沢くんは、近畿地方の「ある場所」に関連した文章を収集。私たちは「ある場所」に潜む怪異の存在に気づき…。綴じ込みの「取材資料」付き。『カクヨム』掲載に加筆修正。

産経新聞 2023/10/21、朝日新聞 2023/10/28

2023:8./ 334p
978-4-04-737584-0
¥1,430〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

モノクロの街の夜明けに

ルータ・セペティス 著
岩波書店
1989 年、独裁がつづくルーマニア。抑圧された人々の自由への祈りが、ついに国を動かす-。17 歳がみつめた革命の希望と痛みを描く歴史フィクション。

産経新聞 2023/10/22

2023:9./ 398p
978-4-00-116048-2
¥2,750〔税込〕

地形の思想史(角川新書　K-421)

原　武史 著
KADOKAWA
なぜ、上皇一家はある「岬」を訪ね続けたのか? なぜ、「峠」で天皇制と革命思想は対峙したのか? なぜ、富士の「麓」でオウムは終末を望んだのか? 国内の様々な場所を歩き、地形と思想の浅からぬ関係について考察する。

産経新聞 2023/10/22

2023:5./ 277p
978-4-04-082436-9
¥1,034〔税込〕

さだまさしが聞きたかった、「人生の達人」タキ姐のすべて

加藤 タキ／さだまさし 著
講談社
年齢にとらわれない生き方、世界のスターに学んだこと、親子で会話する大事さ…。さだまさしがインタビュアーとなり、アーティスト・コーディネーター加藤タキが自由に生きるヒントを伝える。

産経新聞 2023/10/22

2023:10./ 271p
978-4-06-533601-4
¥1,870〔税込〕

八月の御所グラウンド

万城目 学 著
文藝春秋
大学生・朽木は、借金のカタに、早朝の御所 G(グラウンド)で謎の草野球大会、たまひで杯に参加する羽目になり…。表題作など、人生の愛しくほろ苦い味わいを綴る全 2 篇を収録する。『オール讀物』掲載を改題し単行本化。

産経新聞 2023/10/22

2023:8./ 204p
978-4-16-391732-0
¥1,760〔税込〕

災禍の神話学～地震、戦争、疫病が物語になるとき～

沖田 瑞穂 著
河出書房新社
地震、戦争、疫病…。人類が災厄を乗り越えるためになぜ神話が必要とされたのか。その方法とは何だったのか。世界各地の神話を紹介しながら、人間と宗教の歴史、その営みの意義に迫る。

産経新聞 2023/10/22

2023:8./ 217p
978-4-309-22893-8
¥2,420〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

本の背骨が最後に残る

斜線堂有紀 著
光文社
物語を語る者が「本」と呼ばれる国。1 冊につき 1 つの物語だが、稀に同じ本に異同が生じると、どちらかが「誤植」と断じられ「焚書」される-。表題作のほか、全 7 編を収録。新鋭作家が凶暴な想像力で紡いだ、絢爛甘美な物語。

産経新聞 2023/10/22

2023:9./ 276p
978-4-334-10051-3
¥1,870〔税込〕

千田嘉博と春風亭昇太が攻める最強の山城!<関東編>

千田 嘉博／春風亭 昇太 著
ＰＨＰエディターズ・グループ
城郭考古学の第一人者・千田嘉博と、「山城好き」を公言する落語家・春風亭昇太が、関東近郊の名城 22 の“絶体絶命”なポイントを、現地を訪ねて解説する。『東京人』連載に語り下ろしを加えて単行本化。

産経新聞 2023/10/22

2023:9./ 159p
978-4-569-85539-4
¥1,793〔税込〕

日本史を支えてきた和紙の話

朽見 行雄 著
草思社
和紙は単なるモノではなく、日本人の心情に訴える精神性をも備え、国家経営から芸術、日常生活への寄与まで、驚くほど広範に能力を発揮した。黒子として歴史を生きてきた和紙に光を当て、日本史を読み直す。

産経新聞 2023/10/22

2023:10./ 271p
978-4-7942-2679-2
¥2,090〔税込〕

牧水・啄木・喜志子

伊藤　一彦 著
ながらみ書房
牧水の歌を、牧水の心を、純粋にして高い文学の志をもって、啄木などとの交友関係、妻・喜志子の歌を丹念に読み解きながら、生き生きと描かれていくロマン的な世界。孤独な人間の深い影を踏みしめながら。

産経新聞 2023/10/22

2023:9./ 284p
978-4-86629-306-6
¥2,860〔税込〕

ミステリースクール

講談社 編
円堂 都司昭／大森 望／佳多山 大地／栗俣 力也／末國 善己／杉江 松恋／千街 晶之／瀧井 朝世／政宗 九／村上 貴史／吉田 伸子／吉野 仁／若林 踏 著
講談社
読みたい「謎」が必ず見つかる! 古典、新本格、社会派、翻訳、現代/ライトノベル、警察小説、恋愛、短編など、13 名の書評家が選りすぐりのミステリーを徹底解説。読書クラブ MRC 有料会員向けの LINE 配信を書籍化。

産経新聞 2023/10/29

2023:10./ 538p
978-4-06-532231-4
¥3,850〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ラザロの迷宮

神永 学 著
新潮社
湖畔にある洋館を、学生時代の友人と共に訪れたミステリ作家・月島理生。殺人事件の犯人を当てる脱出型の謎解きイベントが開催されるはずだったが、参加者たちは本物の死体を発見してしまい…。予測不能のサイコ・ミステリ。

産経新聞 2023/10/29

2023:9./ 478p
978-4-10-306608-8
¥1,980〔税込〕

郊外の探偵たち(HAYAKAWA POCKET MYSTERY BOOKS 1994)

ファビアン・ニシーザ 著
早川書房
第5子を妊娠中の専業主婦アンドレアは、かつてはFBIの優秀なプロファイラーだった。殺人事件の現場に偶然出くわしたことをきっかけに、彼女は落ち目のジャーナリストのケニーと調査を開始。隠された町の秘密に迫り…。

産経新聞 2023/10/29

2023:8./ 437p
978-4-15-001994-5
¥2,970〔税込〕

おしまい図鑑～すごい人は最期にどう生きたか?～

真山知幸 著
笠間書院
ベッドの上でも仕事を続けたナイチンゲール、62歳で天職に出会ったガウディ…。さまざまな分野で活躍した「すごい人」たちが人生の晩年をどう過ごし、どんなふうに人生を終えたかを紹介する。

産経新聞 2023/10/29

2023:9./ 175p
978-4-305-70994-3
¥1,540〔税込〕

放蕩の果て～自叙伝的批評集～

福田 和也 著
草思社
言葉はどこからもやって来ず、私は言葉を探し、追いかけている-。耽溺してきた文学、演劇、映画、美術、音楽、酒、料理、旅の記憶を回想しながら、友人や師、両親との交流を自叙伝的に描く批評集。

産経新聞 2023/10/29

2023:7./ 443p
978-4-7942-2661-7
¥2,750〔税込〕

ロシア・東欧の抵抗精神～抑圧・弾圧の中での言葉と文化～

石川達夫／貝澤哉／奈倉有里／西成彦／前田和泉 著
成文社
ロシア、ベラルーシ、ウクライナ、ポーランド、チェコ。長い歴史の中で権力に対峙してきたロシア・東欧の人々の言葉と文化のあり方を、「抵抗精神」という観点から論じ、彼らの生き様や認識、知恵を明らかにする。

産経新聞 2023/10/29

2023:9./ 174p
978-4-86520-065-2
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

食で巡るトルコ

岡崎　伸也 著
阿佐ヶ谷書院
世界 3 大料理のひとつ、トルコ料理に魅せられ、トルコ全土を巡った著者が、各地方の郷土料理や食材、民族の料理、地方で見た風物詩などを、豊富なカラー写真とともに紹介する。

産経新聞 2023/10/29

2023:10./ 383p
978-4-9907986-9-7
¥3,080〔税込〕

マンガ世界の海戦史

ヒサクニヒコ 著
イカロス出版
紀元前の古代から現代までに登場した世界各国の艦船とその戦いを、独特のユーモアを交えて描いた“一コマ漫画”作品集。『ミリタリー・クラシックス』連載に加筆し書籍化。

朝日新聞 2023/10/01

2022:9./ 119p
978-4-8022-1190-1
¥2,200〔税込〕

桜の森の満開の下・白痴～他十二篇～(岩波文庫　緑 182-2)

坂口　安吾 著
岩波書店
女性とは何者か。肉体と魂。男と女。安吾にとってそれを問い続けることは自分を見つめることに他ならなかった。淫蕩、可憐、遊び、退屈……。すべてはただ〈悲しみ〉へと収斂する。

朝日新聞 2023/10/07

2008:10./ 414p
978-4-00-311822-1
¥1,001〔税込〕

人類滅亡 2 つのシナリオ～AI と遺伝子操作が悪用された未来～(朝日新書 925)

小川和也 著
朝日新聞出版
AI とゲノム編集技術の取り扱いを誤ると、人類滅亡の因子になり得る。制度設計の不備に悪意が付け込んだ先に、どんな未来が待っているのか。未来のあり方を提唱するフューチャリストが「人類最悪のシナリオ」と回避策を示す。

朝日新聞 2023/10/07

2023:9./ 216p
978-4-02-295232-5
¥891〔税込〕

檸檬(角川文庫　か 19-1)

梶井　基次郎 著
角川書店
私は体調の悪いときに美しいものを見る贅沢をしたくなる。ある日檸檬を買った私は、その香りや色に刺激され、丸善の棚に檸檬 1 つを置いてくる…。表題作をはじめとする作品 11 篇、習作 1 篇、遺稿 2 篇を収録。

朝日新聞 2023/10/07

2013:5./ 276p
978-4-04-100838-6
¥440〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

焼き芋とドーナツ～日米シスターフッド交流秘史～

湯澤　規子 著
KADOKAWA
有名無名を問わず、近代社会への転換期と産業革命期を生きた日米の女性たちのライフストーリーを記述。「なかったこと」にされてきた日常茶飯の世界と、実は主体的だった女性労働者の実像を蘇らせる。

朝日新聞 2023/10/07

2023:9./ 364p
978-4-04-112649-3
¥2,420〔税込〕

盤上に君はもういない(角川文庫　あ 96-2)

綾崎　隼 著
KADOKAWA
将棋のプロ棋士を目指す者たちの最後の難関、奨励会三段リーグで戦う、諏訪飛鳥と千桜夕妃。激戦の末、史上初の女性棋士となったのは…。2 人の天才の、愛と闘いの物語。

朝日新聞 2023/10/07

2023:9./ 379p
978-4-04-113095-7
¥880〔税込〕

天災ものがたり

門井 慶喜 著
講談社
我々の祖先は、巨大な自然災害にいかに立ち向かい、生き抜いてきたのか…。武田信玄が、日本近世の防災上の出発点となった堤防を造るまでを描く「一国の国主」など全 6 篇を収録する。『小説現代』掲載を単行本化。

朝日新聞 2023/10/07

2023:7./ 348p
978-4-06-529779-7
¥1,980〔税込〕

大量絶滅はなぜ起きるのか～生命を脅かす地球の異変～(ブルーバックス B-2241)

尾上 哲治 著
講談社
三畳紀と呼ばれる時代の末期、多くの生物が絶滅した。気鋭の地質学者が、大量絶滅が引き起こされた原因に挑み、現代の大地がどのような状態にあるのか、もし起こるとすれば今後どのようにして大量絶滅が進むのかを考察する。

朝日新聞 2023/10/07

2023:9./ 254p
978-4-06-533395-2
¥1,100〔税込〕

心淋し川(集英社文庫　歴史時代　さ 61-2)

西條 奈加 著
集英社
江戸の片隅、小さなどぶ川沿いに立ち並ぶ古い長屋。住民たちは人生という川のどん詰まりでもがいていた-。懸命に生を紡ぐ人々の切なる願いが胸にしみる連作時代小説。

朝日新聞 2023/10/07

2023:9./ 278p
978-4-08-744565-7
¥704〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

何年、生きても(中公文庫　さ 89-1)

坂井希久子 著
中央公論新社
母親離れができない優柔不断な夫に見切りを付け、家を出た美佐は、東京の下町・谷中で着物のネットショップを切り盛りしている。ある日、実家の蔵で、箪笥に仕舞われた銘仙、謎の写真、3 冊のノートを見つけ…。

朝日新聞 2023/10/07

2023:9./ 369p
978-4-12-207415-6
¥880〔税込〕

赤目四十八滝心中未遂(文春文庫)

車谷 長吉 著
文芸春秋
「私」はモツを串に刺し続けた。女の背中には迦陵頻迦の刺青があった……。救いのない人間の業と情念を見事な文章と技法で描く傑作

朝日新聞 2023/10/07

2001:2./ 280p
978-4-16-765401-6
¥682〔税込〕

客観性の落とし穴(ちくまプリマー新書　427)

村上 靖彦 著
筑摩書房
その考えは客観的なもの? エビデンスはある? こうした考え方が社会に広がった原因を考察。数字への素朴な信仰、数値化できないはずのものを数字へと置き換えようとする傾向を問い直し、失われたものを明らかにする。

朝日新聞 2023/10/07

2023:6./ 191p
978-4-480-68452-3
¥880〔税込〕

神様たちのお伊勢参り(双葉文庫　た-46-04)

竹村　優希 著
双葉社
すべてを失い伊勢神宮に神頼みにやってきた芽衣が辿り着いたのは、お伊勢参りにくる神様御用達の宿「やおろず」だった!? 崖っぷち OL と神様の交流を描いた、心温まる物語。小説投稿サイト『エブリスタ』掲載を元に文庫化。

朝日新聞 2023/10/07

2017:6./ 268p
978-4-575-52011-8
¥641〔税込〕

WHITESHIFT 白人がマイノリティになる日

エリック・カウフマン 著
亜紀書房
白人がマイノリティになる世界-ホワイトシフト。英国では 2100 年代までにこの変容が完了する。その時、世界はどう変わるのか。人口学、社会学、心理学等の知見を動員し、データをもとに米・英・欧州・カナダの状況を分析。

朝日新聞 2023/10/07

2023:6./ 782p
978-4-7505-1796-4
¥6,160〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

デオナール アジア最大最古のごみ山～くず拾いたちの愛と哀しみの物語～

ソーミャ ロイ 著
柏書房
不法投棄、火災、依存症、ギャングの抗争、当局の排除政策…。ムンバイの市街地の端にあるデオナールごみ集積場で、廃棄物とともに生まれ育った少女らの目を通して、愛と哀しみ、この世界が生み出すゆがみを描く。

朝日新聞 2023/10/07

2023:8./ 372p,10p
978-4-7601-5530-9
¥2,860〔税込〕

南海トラフ地震の真実

小澤慧一 著
東京新聞出版部
「発生確率 70～80%」と言われる南海トラフ地震、実は 20%!? 数字を決めたのは科学ではなかった! 地震学と行政・防災のいびつな関係を暴く。科学ジャーナリスト賞受賞の『中日新聞』『東京新聞』連載を書籍化。

朝日新聞 2023/10/07

2023:8./ 245p
978-4-8083-1088-2
¥1,650〔税込〕

龍子<1>(トーチ・コミックス)

エルド吉水 著
リイド社
謎の金印を巡り交錯する、国を超えた父娘の愛憎－。血墨飛び散る怒涛の筆致、「エルド吉水」という新表現。デビュー作にして世界各国で次々出版、新時代のハードボイルド・ノワール・アクション。 今、満を持して日本凱旋!

朝日新聞 2023/10/07

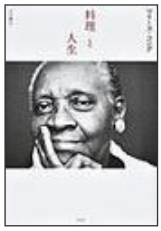
2023:9./ 264p
978-4-8458-6164-4
¥1,430〔税込〕

海への巡礼～文学が生まれる場所～

岡本　勝人 著
左右社
メルヴィル、ヘミングウェイ、志賀直哉、中上健次…。海は作家たちの別世界への憧憬を受けとめ、ポエジーへと昇華してゆく。海の彼方に思いを馳せ、作品を生み出してきた文学者たちに新しい光を当てる文芸エッセイ。

朝日新聞 2023/10/07

2023:8./ 253p
978-4-86528-376-1
¥2,860〔税込〕



料理と人生

マリーズ・コンデ、大辻　都 著
左右社
女中たちから料理を教わる台所が隠れ家だった娘時代、ギニア・ガーナ・セネガルで出会ったアフリカの味、世界中を飛び回る日々に知った東京のヤキトリ、マグレブのタジン鍋…。世界的黒人女性作家の最後の自伝的回想録。

朝日新聞 2023/10/07

2023:7./ 302p
978-4-86528-377-8
¥4,180〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

windows

赤々舎

写真家・奥山由之が 2020 年 4 月から 2022 年 11 月までの 2 年半にわたり、初めてデジタルカメラを用いて東京都内で撮影した不透明なガラス窓の写真群から、724 点を収載した写真集。小説家・堀江敏幸らの寄稿も収録。

朝日新聞 2023/10/07

2023:6./ 752p
978-4-86541-171-3
¥11,000〔税込〕

ヒロイン

桜木 紫乃 著

毎日新聞出版

1995 年、渋谷駅で毒ガス散布事件が発生。指名手配されたのは宗教団体の幹部男性と、何も知らずに同行させられた 23 歳の信者岡本啓美。この日から、無実の啓美の長い逃亡劇が始まった。『サンデー毎日』連載を加筆・修正。

朝日新聞 2023/10/07、産経新聞 2023/10/15、日本経済新聞 2023/10/28

2023:9./ 404p
978-4-620-10870-4
¥2,200〔税込〕

暗闇に戯れて～白さと文学的想像力～(岩波文庫　赤 346-1)

トニ・モリスン 著

岩波書店

ハーバード大学での講義から生まれた、人種問題をめぐる革新的な批評の書。キャザー、ポーなどの作品を通じて、アメリカ文学史の根底に「白人男性を中心とした思考」があることを明るみに出し、差別の構造を鮮やかに分析する。

朝日新聞 2023/10/07、日本経済新聞 2023/10/21

2023:9./ 174p
978-4-00-323461-7
¥990〔税込〕

古代国家と中世社会(明日への日本歴史　1)

五味 文彦 著

山川出版社

政治、社会、芸能、絵画、考古といった諸分野に通暁する著者が、時代の思潮や時代精神に注目し、日本全史を解説。1 は、縄文・弥生から鎌倉・室町時代までを、文明化・制度化・習合などをキーワードに記述する。

朝日新聞 2023/10/07、毎日新聞 2023/10/28

2023:5./ 428p
978-4-634-15221-2
¥2,750〔税込〕

戦国の社会と天下人の国家(明日への日本歴史　2)

五味 文彦 著

山川出版社

政治、社会、芸能、絵画、考古といった諸分野に通暁する著者が、時代の思潮や時代精神に注目し、日本全史を解説。2 は、応仁の乱～江戸時代初期の領邦支配から全国支配へと変わる様相を、自立・所帯をキーワードに記述する。

朝日新聞 2023/10/07、毎日新聞 2023/10/28

2023:7./ 364p
978-4-634-15222-9
¥2,750〔税込〕

近世の政治と文化の世界(明日への日本歴史　3)

五味 文彦 著
山川出版社
政治、社会、芸能、絵画、考古といった諸分野に通暁する著者が、時代の思潮や時代精神に注目し、日本全史を解説。3 は、寛文・元禄期から文化・文政までを、「制度」「世界」をキーワードに記述する。

朝日新聞 2023/10/07、毎日新聞 2023/10/28

2023:7./ 392p
978-4-634-15223-6
¥2,750〔税込〕

近代社会と近現代国家(明日への日本歴史　4)

五味 文彦 著
山川出版社
政治、社会、芸能、絵画、考古といった諸分野に通暁する著者が、時代の思潮や時代精神に注目し、日本全史を解説。4 は、天保期から高度成長期までを、「改革」「文明」「経済」「環境」をキーワードに記述する。

朝日新聞 2023/10/07、毎日新聞 2023/10/28

2023:8./ 443p
978-4-634-15224-3
¥2,750〔税込〕

メキシコ古代都市の謎テオティワカンを掘る(朝日選書　1035)

杉山三郎 著
朝日新聞出版
紀元 1〜6 世紀、メキシコ中央高原に栄えた古代都市、テオティワカン。それは壮大な計画都市であった。半生を現地調査にささげた著者が、テオティワカンの歴史に考古学の戦略で肉薄し、様々な角度からデータを読み解く。

朝日新聞 2023/10/14

2023:6./ 16p,188p,7p
978-4-02-263125-1
¥2,200〔税込〕

テスカトリポカ

佐藤　究 著
KADOKAWA
メキシコの麻薬密売人バルミロと臓器売買コーディネーターの末永は、新たな闇ビジネスを実現させるため日本へ向かう。少年コシモは知らぬ間に彼らの犯罪に巻き込まれ…。『カドブンノベル』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

朝日新聞 2023/10/14

2021:2./ 553p
978-4-04-109698-7
¥2,310〔税込〕

泳ぐ者(新潮文庫　あ-84-4)

青山 文平 著
新潮社
離縁して 3 年半経つのに、なぜ女は前夫を刺したのか。徒目付の片岡直人は、調べの末「真相」を確信するが、最悪の事態に。折も折、毎日決まった時刻に大川を泳ぐ男がいるという奇妙な噂が…。江戸の人々の翳を鮮やかに描く。

朝日新聞 2023/10/14

2023:10./ 374p
978-4-10-120094-1
¥781〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

インド～グローバル・サウスの超大国～(中公新書　2770)

近藤正規 著
中央公論新社
世界一の人口、世界第5位のGDP、そして新興国の盟主とされるインド。インド経済研究の第一人者が、財閥の盛衰やIT産業のビジネス面から、外交、格差問題、日印関係の今後まで幅広く解説する入門書。

朝日新聞 2023/10/14

2023:9./ 5p,302p
978-4-12-102770-2
¥1,078〔税込〕

テレビマン伊丹十三の冒険～テレビは映画より面白い?～

今野　勉 著
東京大学出版会
稀代の才人伊丹十三は類稀なるテレビマンでもあった! 伊丹十三という俳優が、自然に、自由にテレビマンとなっていく過程を再現。伊丹と共に番組を制作してきた盟友・今野勉が綴るテレビマン伊丹十三の冒険の軌跡。

朝日新聞 2023/10/14

2023:6./ 266p
978-4-13-053032-3
¥3,850〔税込〕

科学でかなえる世界征服

ライアン・ノース 著
早川書房
悪の秘密基地に最適な立地は? 永遠の命を手に入れるには? タイムトラベルは実現可能か? 映画やアメコミの悪役が抱きがちな野望についての疑問を、科学的&真面目に検証する。

朝日新聞 2023/10/14

2023:7./ 443p
978-4-15-210255-3
¥2,420〔税込〕

レモンと殺人鬼(宝島社文庫　このミス大賞 C く-13-1)

くわがき あゆ 著
宝島社
10年前、父親が通り魔に殺されて母親も失踪、それぞれ別の親戚に引き取られた小林姉妹。遺体で発見された妹の妃奈が、保険金殺人を行っていたという疑惑をかけられる。妹の潔白を信じる姉の美桜は、疑いを晴らすべく…。

朝日新聞 2023/10/14

2023:4./ 312p
978-4-299-04167-8
¥779〔税込〕

化けもの～南町奉行所吟味方秘聞～(河出文庫　ふ 21-1)

藤田 芳康 著
河出書房新社
窃盗の罪に問われた女性・お絹。犯行動機についていっさい語ろうとしないお絹は、長引く吟味の果てに、敵は化けものだと漏らす。化けものとは誰か? 彼女が捕まった真の狙いは? 全てが明らかになるとき、どんでん返しが…。

朝日新聞 2023/10/14

2023:9./ 218p
978-4-309-41987-9
¥858〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

科学技術の軍事利用～人工知能兵器、兵士の強化改造、人体実験の是非を問う～(平凡社新書　1032)

2023:7./ 207p
978-4-582-86032-0
¥1,034〔税込〕

9 784582860320

櫛島　次郎 著
平凡社
古今東西、つねに不可分のものとして発展してきた科学・技術と軍事開発。「軍民両用」ははたしてどこまで許されるべきなのか。科学・技術と軍事の結びつきの歴史をたどり、最先端の課題を生命倫理の第一人者と考える。

朝日新聞 2023/10/14

離れていても家族

2023:8./ 308p
978-4-7505-1806-0
¥2,200〔税込〕

9 784750518060

品田 知美／水無田 気流／野田 潤／高橋 幸 著
亜紀書房
過酷な日本の家族の現実。自助を担う器ではなく、女性を閉じ込める檻でもなく、<ハッピーな家族>はどのように作ることができるのか。日本とイギリスの家族を調査、比較しながら、社会学者たちが日本の家族の実像を分析する。

朝日新聞 2023/10/14

文学のエコロジー(放送大学叢書　061)

2023:9./ 315p
978-4-86528-385-3
¥2,420〔税込〕

9 784865283853

宮下　志朗 著
左右社
口誦文学と写本、パトロン文化、出版と検閲、著作権、文学賞、印税、電子書籍…。古今東西、文学を取り巻く環境はかように変化してきた-。さまざまな時代の「文学」について、多様な視点から論じる。

朝日新聞 2023/10/14

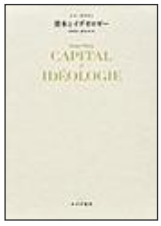
天を測る(講談社文庫　こ 25-54)

2023:9./ 377p
978-4-06-533021-0
¥869〔税込〕

9 784065330210

今野 敏 著
講談社
世の理は、全て単純な数式で表せる-。咸臨丸の太平洋横断、江戸湾海防計画、軍艦建造。論理力で欧米列強を圧倒し、近代日本の船出を陰で支えた英雄、小野友五郎の物語。

朝日新聞 2023/10/14、読売新聞 2023/10/22



資本とイデオロギー

2023:8./ 20p,931p,164p
978-4-622-09048-9
¥6,930〔税込〕

9 784622090489

トマ・ピケティ 著
みすず書房
<財産主義>の視点から世界史をたどり、イデオロギーと格差の関係を明らかにする。さらに現代民主政治を分析し、労働者の企業統治参画と累進年次資産税など、新たな公正な経済システムを提示する。「21 世紀の資本」の続編。

朝日新聞 2023/10/14、日本経済新聞 2023/10/14

MARUZEN-YUSHODO

暗闇の効用

ヨハン・エクレフ 著
太田出版
現代の“光害”をひもとき、失われた闇を取り戻す-。生物学者が、暗闇や夜がすべての生命に対してどのような意味を持つかを考察し、「暗闇と夜の重要性」「光害の深刻さ」を詩的に綴る。

朝日新聞 2023/10/14、日本経済新聞 2023/10/14

2023:9./ 235p
978-4-7783-1891-8
¥2,420〔税込〕

トルコ 100 年の歴史を歩く～首都アンカラでたどる近代国家への道～(平凡社新書　1038)

今井　宏平 著
平凡社
2023 年 10 月、建国 100 年を迎えるトルコ共和国。新旧の建物が建ち並ぶ首都アンカラを歩いてみれば、トルコの政治、宗教、経済、文化の歩みを一気に辿ることができる! アンカラからトルコ 100 年の歴史を振り返る。

朝日新聞 2023/10/14、日本経済新聞 2023/10/21

2023:9./ 237p
978-4-582-86038-2
¥1,056〔税込〕

アルツハイマー病研究、失敗の構造

カール・ヘラップ 著
みすず書房
急いで治療薬を求めるあまり、アミロイドカスケードというたったひとつの仮説にかけてしまったアルツハイマー病研究の現状とは。良心的科学者が、アカデミズム・製薬産業・研究助成機関三つ巴の迷走の裏事情を明らかにする。

朝日新聞 2023/10/14、日本経済新聞 2023/10/21

2023:8./ 5p,322p,16p
978-4-622-09629-0
¥3,520〔税込〕

大江健三郎同時代論集<1>　新装版　出発点

大江　健三郎 著
岩波書店
大江健三郎が自ら編んだエッセイ・評論を集成。1 は、敗戦後、憲法を自らのモラルとして選びとった著者が、現在に連なる“われらの時代”を鮮やかに描いた「戦後世代と憲法」をはじめ、「われらの性の世界」などを収録する。

朝日新聞 2023/10/21

2023:8./ 332p
978-4-00-028821-7
¥2,530〔税込〕

親密な手紙(岩波新書　新赤版　1993)

大江　健三郎 著
岩波書店
大江健三郎が、渡辺一夫、サイード、井上ひさし、オーデンなどを語る読書案内。自身の作品とともに日常の様々なできごとを描き、初めて大江作品に出会う人への誘いにもなる一冊。『図書』連載をもとに書籍化。

朝日新聞 2023/10/21

2023:10./ 6p,187p
978-4-00-431993-1
¥968〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

月(角川文庫　へ 3-15)

辺見　庸 著
KADOKAWA
善良無害をよそおう社会の表層をめくりかえし、誰もが見て見ぬふりをする暗がりを白日の下にさらす! 相模原の障がい者 19 人殺害事件に着想した、大量殺人の静かなる物語。

朝日新聞 2023/10/21

2021:2./ 387p
978-4-04-111150-5
¥1,034〔税込〕

笠置シヅ子～昭和の日本を彩った「ブギの女王」一代記～(角川文庫　あ 113-3)

青山　誠 著
KADOKAWA
「東京ブギウギ」「買い物ブギー」など、数多くの楽曲で、敗戦から復興へと進む日本社会を、持ち前の笑顔と歌声で励まし、勇気づけた笠置シヅ子。一世を風靡した「ブギの女王」の波瀾万丈の一生を追う。

朝日新聞 2023/10/21

2023:9./ 221p
978-4-04-606599-5
¥858〔税込〕

もぬけの考察

村雲 菜月 著
講談社
この部屋の住人は、みんないなくなる? 都市の片隅にあるマンションの一室、408 号室に入れ替わる住人たち-。奇想天外な物語が、日常にひそむ不安と恐怖を映し出す。『群像』掲載を単行本化。

朝日新聞 2023/10/21

2023:7./ 108p
978-4-06-532685-5
¥1,540〔税込〕

ロシアより愛をこめて～あれから 30 年の絶望と希望～(集英社文庫　か 80-1)

金平 茂紀 著
集英社
1991～94 年、ソ連崩壊前後の激動の時代を TBS モスクワ支局特派員として過ごした著者が、ロシアの実態、そこに生きる人々との交流を書簡と日記形式で綴る。「補章 ウクライナより愛をこめて」を加え文庫化。

朝日新聞 2023/10/21

2023:9./ 470p
978-4-08-744567-1
¥1,056〔税込〕

紛争地の看護師(小学館文庫　し 24-1)

白川 優子 著
小学館
悲しみ、憎しみ、恐怖。こみあげる怒り。それでも信じたい人間の強さ-。イラク、シリア、パレスチナなど紛争地を中心に、20 回近い派遣に応じてきた「国境なき医師団」看護師が生と死の極限を綴る。新章を加えて文庫化。

朝日新聞 2023/10/21

2023:10./ 316p
978-4-09-407300-3
¥781〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

平安貴族とは何か～三つの日記で読む実像～(NHK 出版新書　707)

倉本 一宏 著

ＮＨＫ出版

歴史の主役としては光の当たらない平安貴族。だが、彼らは武士が台頭し不安定化する世で国のために巧みに立ち回り、腐心しながら朝廷を支えた。平安貴族の実像を、3 つの日記「御堂関白記」「権記」「小右記」から明かす。

朝日新聞 2023/10/21

2023:10./ 251p
978-4-14-088707-3
¥1,023〔税込〕

文学キョーダイ!!

奈倉 有里／逢坂 冬馬 著

文藝春秋

おじいちゃんとトルストイ、ジェンダーを気にしなかった子供時代、作家という仕事、2021 年の不思議な符合、予期せぬ戦争…。現代文学の最前線に立つ姉弟による、知性と優しさが満ちる対話を収録。

朝日新聞 2023/10/21

2023:9./ 252p
978-4-16-391753-5
¥1,760〔税込〕

越境する認知科学<10>　なぜ壁のシミが顔に見えるのか

日本認知科学会 編

高橋 康介 著

共立出版

従来の研究領域や方法を越境して拡大・深化し続けている認知科学が明らかにした知性の姿を紹介。10 は、顔文字の起源からお化けの謎まで、認識の不思議な世界「パレイドリア」「アニマシー知覚」を解明する。

朝日新聞 2023/10/21

2023:9./ 12p,251p
978-4-320-09470-3
¥3,080〔税込〕

幸福人フー～僕の妻は「しあわせ」のお手本～

坂口恭平 著

祥伝社

坂口恭平の妻フーちゃんは、不安はないけど、期待もしない人。出会いから 20 年、妻をずっと定点観測してきた坂口が、彼女の「しあわせ」の在り方をインタビューしながら探る。note 掲載に書き下ろしを加え書籍化。

朝日新聞 2023/10/21

2023:9./ 204p
978-4-396-61811-7
¥1,760〔税込〕

東家の四兄弟

瀧羽麻子 著

祥伝社

東家は占い師を父に持つ、男ばかりの四兄弟。三男の優三郎がタロットで<最凶>のカードを引き当ててから、不運が連鎖し、隠れていたトラブルが表面化し始める。平穏な日常は戻るのか!? 『コフレ』連載に加筆、訂正。

朝日新聞 2023/10/21

2023:10./ 289p
978-4-396-63653-1
¥1,760〔税込〕

爛漫ドレスコードレス<2>(プティル・コミックス サ 2-02)

佐悠 著

ハーパーコリンズ・ジャパン

朝日新聞 2023/10/21

2023:8./ 1 冊
978-4-596-52232-0
¥798〔税込〕

爛漫ドレスコードレス<1>(プティル・コミックス サ 2-01)

佐悠 著

ハーパーコリンズ・ジャパン

朝日新聞 2023/10/21

2023:8./ 170p
978-4-596-52234-4
¥768〔税込〕

これで死ぬ～アウトドアに行く前に知っておきたい危険の事例集～

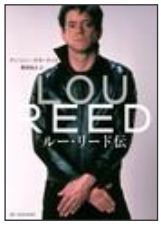
羽根田 治 著

山と渓谷社

助けようとして死ぬ。ダニに噛まれて死ぬ。ころんで死ぬ…。まさか、こんなことで死ぬなんて! 53 のアウトドアでの死の事例を紹介。死なないための安全知識も解説する。

朝日新聞 2023/10/21

2023:7./ 144p
978-4-635-50048-7
¥1,430〔税込〕



ルー・リード伝

アンソニー・デカーティス 著

亜紀書房

音楽・アート・文化に大きな影響を与え、ニューヨークを象徴する唯一無二の存在となったルー・リード。ルーにただ一人認められたジャーナリストが、関係者の発言や証言、歌詞を読み解き、天才の生涯と作品の全貌を描き出す。

朝日新聞 2023/10/21

2023:7./ 510p 図版 16p
978-4-7505-1802-2
¥4,950〔税込〕

プライバシーこそ力～なぜ、どのように、あなたは自分のデータを巨大企業から取り戻すべきか～

カリッサ・ヴェリツ 著

花伝社

あなたのすべての情報が、いま巨大 IT 企業と政府の手に渡り、あなたのあらゆる行動を支配しようとしている。この「監視資本主義」に対し、どう立ち向かうことができるか。監視資本主義の脅威と解決策をわかりやすく解説する。

朝日新聞 2023/10/21

2023:7./ 258p,25p
978-4-7634-2074-9
¥2,200〔税込〕

義弟全史～歌集～

土井礼一郎 著
短歌研究社
ひとめぐりしてまた戻るというほどの旅にこぼれているハナムグリ ひと幕に役者はふたりってまだなにも知らないくせに父はつぶやく ひからびることは怖いと教えれば水が好きだとくりかえし言う 第1歌集。

朝日新聞 2023/10/21

2023:4./ 129p
978-4-86272-738-1
¥1,980〔税込〕

Lilith～歌集～

川野芽生 著
書肆侃侃房
harassとは猟犬をけしかける声その鹿がつかれはてて死ぬまで 叙情の品格、少女神の孤独。端正な古語をもって紡ぎ出される清新の青。2012年から2019年までの374首を収めた第1歌集。

朝日新聞 2023/10/21

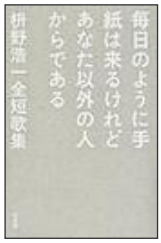
2020:9./ 165p
978-4-86385-419-2
¥2,200〔税込〕

老人ホームで死ぬほどモテたい(新鋭短歌 59)

上坂あゆ美 著
書肆侃侃房
ばあちゃんの骨のつまみ方燃やし方YouTuberに教えてもらう 人生はこんなもんだよ眉毛すら自由に剃れない星でぼくらは 今を詠う歌人のエッセンスが詰まった短歌集。東直子による解説も収録。

朝日新聞 2023/10/21

2022:2./ 141p
978-4-86385-506-9
¥1,870〔税込〕



毎日のように手紙は来るけれどあなた以外の人からである～枡野浩一全短歌集～

枡野　浩一 著
左右社
こんなにもふざけたきょうがある以上どんなあすでもありうるだろう 歌人・枡野浩一のデビュー25周年を記念した全短歌集。未収録作なども収める。特別栞「俵万智と枡野浩一の往復書簡」付き。

朝日新聞 2023/10/21

2022:9./ 381p
978-4-86528-099-9
¥2,530〔税込〕

水上バス浅草行き

岡本真帆 著
ナナロク社
現場から病院までの犬という犬を吠えさせてゆく救急車 この街はどこも消毒済みだから手書きの誤字がとてもうれしい 水上の乗り物からは手を振っていい気がしちゃうのはなぜだろう 第1歌集。

朝日新聞 2023/10/21

2022:3./ 162p
978-4-86732-010-5
¥1,870〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

二川幸夫の眼

二川　由夫、二川　幸夫、斎藤　日登美、伊東　豊雄 著
エーディーエー・エディタ・トーキョー
世界中の建築を一番見ているのは自分だと豪語し、優れた建築を撮影し、編集、出版した二川幸夫。伊東豊雄、鈴木了二、原広司ら、彼と付き合いのあった 17 人が、その生き様を語る。『GA JAPAN』連載を書籍化。

朝日新聞 2023/10/21

2023:9./ 147p
978-4-87140-696-3
¥4,290〔税込〕

源氏物語入門(岩波ジュニア新書　974)

高木 和子 著
岩波書店
紫式部ってどんな人? 「源氏物語」って不道徳な話なの? 嫉妬に狂う女は嫌われる? 「源氏物語」の展開をたどり、人々を夢中にさせ続ける秘密を探る。よく知られた名場面を現代語訳付きで解説するコラムも収録。

朝日新聞 2023/10/21、毎日新聞 2023/10/28

2023:9./ 238p
978-4-00-500974-9
¥1,056〔税込〕

前川佐美雄歌集

三枝昂之 編
前川佐美雄 著
書肆侃侃房
「現代短歌の発端」として比類なき歌を紡いだ歌人・前川佐美雄。代表歌集「植物祭」「大和」の完本をはじめ、「春の日」抄、「日本し美し」抄など、1600 首を収録する。年譜、編者による解説も掲載。

朝日新聞 2023/10/22

2023:8./ 362p
978-4-86385-589-2
¥2,640〔税込〕

文学は地球を想像する～エコクリティシズムの挑戦～(岩波新書 新赤版 1988)

結城 正美 著
岩波書店
環境問題を考える手がかりは文学にある。ソロー、石牟礼道子、梨木香歩、カズオ・イシグロらの作品に、環境をめぐる文学研究=エコクリティシズムの手法で分け入り、地球と向き合う想像力を掘り起こす。

朝日新聞 2023/10/28

2023:9./ 248p
978-4-00-431988-7
¥1,056〔税込〕

日没(岩波現代文庫　文芸 352)

桐野 夏生 著
岩波書店
小説家・マッツ夢井に政府組織から召喚状が届き、彼女は断崖に建つ海辺の療養所へと収容される。「社会に適応した小説」を書けと命じられるが…。表現の不自由の近未来を描く、警世小説。

朝日新聞 2023/10/28

2023:10./ 377p
978-4-00-602352-2
¥990〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

5 分後に意外な結末～赤い悪夢～ 増補改訂版

桃戸ハル 編
学研プラス
5 分程度の時間で読めて、ラストにはあっと驚く意外な結末が! 朝読にも最適な、ショートショートを集めたアンソロジー。「開いた窓」「学校嫌い」「復讐」「ドリアン・グレイの肖像」など 37 編を収録。

朝日新聞 2023/10/28

2022:8./ 299p
978-4-05-205586-7
¥1,210〔税込〕

闇の精神史(ハヤカワ新書 014)

木澤 佐登志 著
早川書房
どんづまりの現実、その外部としての「宇宙」。頭上の暗闇に、人は何を見るのか。ロシア宇宙主義から、アフロフューチャリズム、サイバースペースとメタバースまでを繋ぎ論じる。『SF マガジン』連載を書籍化。

朝日新聞 2023/10/28

2023:10./ 310p
978-4-15-340014-6
¥1,122〔税込〕

マリエ

千早 茜 著
文藝春秋
コロナ禍下、40 歳を前に離婚した桐原まりえは、些細なきっかけと少しの興味から結婚相談所に登録する。そこで見聞きする世界は思いもよらないもので…。おとなの女性の幸福と結婚を巡る物語。『オール讀物』連載を単行本化。

朝日新聞 2023/10/28

2023:8./ 242p
978-4-16-391740-5
¥1,870〔税込〕

フリアとシナリオライター(河出文庫 ハ 9-2)

マリオ・バルガス=リョサ 著
河出書房新社
美しきフリア叔母さんと天才シナリオ作家を相手に、小説家志望の大学生である「ぼく」は、恋と芸術に熱中する日々。やがてシナリオ作家の様子がおかしくなり、放送中のドラマが錯綜し始めて…。コミカルな長編小説。

朝日新聞 2023/10/28

2023:9./ 589p
978-4-309-46787-0
¥1,650〔税込〕

魔女の一日～魔女になるための秘密～

飯島 都陽子 著
金の星社
村のはずれ、森の入り口、ハリエニシダの垣根に囲まれた、古びた藁葺き屋根の一軒家に、魔女が住んでいるらしい。家の中をのぞいてみると…。朝ごはんから魔術の勉強、空を飛ぶ修業、眠るまで、魔女の一日を紹介する。

朝日新聞 2023/10/28

2023:9./ 47p
978-4-323-03402-7
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

クィアなアメリカ史(再解釈のアメリカ史　2)

マイケル・ブロンスキー 著

勁草書房

LGBTQ の歴史的経験や行動は、アメリカに何をもたらしたのか。人種やジェンダー、セクシュアリティを歴史叙述の不可欠な構成要素に位置づけ、周縁化されてきた人々の視点から「再解釈のアメリカ史」を描く。

朝日新聞 2023/10/28

2023:8./ 368p
978-4-326-65442-0
¥3,960〔税込〕

道徳的に考えるとはどういうことか(ちくま新書　1753)

大谷 弘 著

筑摩書房

「正しさ」はいかにして導かれるか。「非主流派倫理学」の立場からプラトン、ウィトゲンシュタイン、一ノ瀬正樹、槇原敬之らの実践を検討し、道徳的思考の多様で奥深い内実を浮き彫りにする哲学的探究。

朝日新聞 2023/10/28

2023:10./ 235p
978-4-480-07586-4
¥968〔税込〕

夢みる宝石(ちくま文庫　す 31-1)

シオドア・スタージョン／川野 太郎 著

筑摩書房

孤児の少年ホーティは養家から飛び出し、見世物で巡業するカーニバルに加わり、はぐれ者の団員たちと友情を結ぶ。しかし団長は、不思議な「夢みる水晶」を集め、人間への復讐を企てていた…。愛と孤独の作家の幻想冒険譚。

朝日新聞 2023/10/28

2023:10./ 287p
978-4-480-43913-0
¥1,045〔税込〕

かがみの孤城<上>(ポプラ文庫 つ 1-1)

辻村　深月 著

ポプラ社

学校での居場所をなくし、部屋に閉じこもっていた“こころ”の目の前で、鏡が光り始めた。輝く鏡をくぐり抜けた先の世界には、似た境遇の 7 人が集められていた。秘めた願いを叶えるため、7 人は城で隠された鍵を探す-。

朝日新聞 2023/10/28

2021:3./ 411p
978-4-591-16971-1
¥858〔税込〕

かがみの孤城<下>(ポプラ文庫 つ 1-2)

辻村　深月 著

ポプラ社

部屋の鏡をくぐり抜けた先にある城に通う“こころ”。そこで出会った、境遇の似た仲間 7 人それぞれの事情が少しずつ明らかになるなか、城の終わりの日が近づいてくる。鏡は見つかるのか、果たしてこの中の誰の願いが叶うのか?

朝日新聞 2023/10/28

2021:3./ 365p
978-4-591-16972-8
¥858〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

その絵ときたら!～新しい絵本の時代をつくったコールデコット～

ミシェル・マーケル 著
ほるぷ出版
米国で最も重要な絵本の賞「コールデコット賞」のもとになった人物とは? 生き生きと動きだしそうな絵で人気となり、後の作家たちにまで影響を与えた、19 世紀絵本の巨匠ランドルフ・コールデコットの伝記絵本。

朝日新聞 2023/10/28

2023:9./ 37p
978-4-593-10309-6
¥2,640〔税込〕

杉森くんを殺すには(くもんの児童文学)

長谷川 まりる 著
くもん出版
親友の杉森くんを過量服薬による事故で亡くしたヒロ。人間性をとりもどすためにも、亡くなった杉森くんを「殺す」しかないと話すヒロに、大学生のミトさんはある助言をし…。大きな喪失から回復していく心の動きを描く。

朝日新聞 2023/10/28

2023:9./ 203p
978-4-7743-3483-7
¥1,540〔税込〕

暗やみに能面ひっそり

佐藤 まどか 著
ＢＬ出版
小 4 の宗太は夏休み、能面師の祖父の家で過ごすことになった。広くて古い家には、いろいろな表情の能面がかかっている。宗太も教わりながら能面を打つことになり…。本に登場する能面と能面師の世界を紹介する挟み込みあり。

朝日新聞 2023/10/28

2023:9./ 167p
978-4-7764-1104-8
¥1,760〔税込〕

<公正>を乗りこなす～正義の反対は別の正義か～

朱 喜哲 著
太郎次郎社エディタス
うまく使いこなすことが難しいと思われている、「正義」や「公正」といった「正しいことば」。それが使いにくいのはなぜなのか、どうすれば使いこなせるのかを、具体例とともに考察する。WEB マガジン連載を大幅に加筆修正。

朝日新聞 2023/10/28

2023:9./ 269p
978-4-8118-0860-4
¥2,420〔税込〕

あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。(野いちごジュニア文庫 し 1-1)

汐見夏衛 著
スターツ出版
母親とケンカをして家を飛び出した中 2 の百合。目をさますとそこは戦時中の日本だった。偶然通りかかったイケメン・彰に助けられ、彼に惹かれていく。しかし、彼は特攻隊員で、ほどなく命を懸けて戦地に飛び立つ運命だった…。

朝日新聞 2023/10/28

2021:5./ 227p
978-4-8137-8014-4
¥737〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

宗教の起源～私たちにはなぜ<神>が必要だったのか～

ロビン・ダンバー 著
白揚社
ときに国家間の戦争を引き起こすほど人々の心に深く根ざした信仰心はなぜ生まれたのか? 「ダンバー数」で世界的に評価された著者が、人類学、心理学、神経科学など多彩な視点から「宗教とは何か」という根源的な問いに迫る。

朝日新聞 2023/10/28

2023:10./ 349p
978-4-8269-0248-9
¥3,300〔税込〕

空間の未来(K-BOOK PASS 06)

ユ・ヒョンジュン（兪炫準） 著
クオン
望ましい未来を創造する鍵は、階層間移動を可能にする<新しい空間>にある-。韓国の人文建築家が住宅、学校、会社、商業施設、自然環境などの問題を通じて語る、ポストコロナ時代の革新的都市文明論。

朝日新聞 2023/10/28

2023:10./ 368p
978-4-910214-48-1
¥2,200〔税込〕

地図バカ～地図好きの地図好きによる地図好きのための本～(中公新書ラクレ 801)

今尾恵介 著
中央公論新社
「東が上」の京都市街地図、アイヌ語地名の宝庫、非常事態の地図…。半世紀をかけて、古今東西の地図や時刻表、旅行ガイドブックなどを集めてきた著者が、約100図版を厳選紹介。『中央公論』連載を新書化。

東京・中日新聞 2023/10/01

2023:9./ 229p
978-4-12-150801-0
¥990〔税込〕

怪異と妖怪のメディア史～情報社会としての近世～(叢書パルマコン・ミクロス 05)

村上 紀夫 著
創元社
怪異とは、怪異とみなされた情報であり、メディアによって媒介され、史料に記録される。近世の都市を対象に、髪切り、一目連、石塔磨きなどの記録を博捜し、メディア史的手法で近世怪異の新たな相貌を描く。

東京・中日新聞 2023/10/01

2023:9./ 245p
978-4-422-70129-5
¥2,640〔税込〕

入り江の幻影～新たな「戦時下」にて～

辺見 庸 著
毎日新聞出版
「戦争状態は人間の行為にあらかじめ影を落とす」としたら、いまがそうではないか。9条は、未だ実践されたことのない境地なのではないか-。「戦争」と対峙し、表現の力だけで翼賛の気風に抗う入魂の反時代的文芸エッセイ集。

東京・中日新聞 2023/10/01

2023:7./ 167p
978-4-620-32784-6
¥2,200〔税込〕

関東大震災と民衆犯罪～立件された一一四件の記録から～(筑摩選書　0262)

佐藤 冬樹 著
筑摩書房
関東大震災直後から多発した、自警団による朝鮮人、中国人らに対する襲撃事件。検察が立件、起訴した 600 人以上の被告、約 90 人の日本人被害者のプロフィールを分析するなどして、民衆犯罪の全貌に迫る。

東京・中日新聞 2023/10/01、日本経済新聞 2023/10/07

2023:8./ 300p,14p
978-4-480-01780-2
¥1,980〔税込〕

ゼッタイ!芥川賞受賞宣言～新感覚文豪ゲームブック～

佐川恭一 著
中央公論新社
君は、美人読書家を振り向かせるため、彼女が神の如く崇める芥川賞作家を目指すことにした…。読者の選択で運命が変わり、最短 2 ターンでゲームオーバーする、新感覚のゲームブック。

東京・中日新聞 2023/10/07

2023:9./ 220p
978-4-12-005694-9
¥1,980〔税込〕

化かしもの～戦国謀将奇譚～

簑輪 諒 著
文藝春秋
乱世は謎に満ちている-。援軍なしに上杉を退ける信玄の秘策を描く「川中島を、もう一度」を始め、乱世で繰り広げられる腹の探り合いを切れ味鋭く描いた 7 編を収録。『オール讀物』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

東京・中日新聞 2023/10/07

2023:8./ 300p
978-4-16-391741-2
¥2,090〔税込〕

むきだしの石～林武史の<彫刻>～

林武史 著
水声社
石を素材とする彫刻家、林武史の作品論。1987 年に本格的に制作を始めてから、2023 年までの主な作品を対象とし、テキスト、エッセイ、インタビューを通して、林武史の仕事を立体的なパースペクティブのもとで展望する。

東京・中日新聞 2023/10/07

2023:9./ 176p 図版 16p
978-4-8010-0747-5
¥2,750〔税込〕

孝明天皇毒殺説の真相に迫る

中村彰彦 著
中央公論新社
孝明天皇弑逆を謀った黒幕は、王政復古を画策したあの中心人物。では、天皇の薬湯に砒素を混入した実行犯は誰か? 維新史最大の謎の解明に挑む長篇論考ほか、動乱期を生きた人々に新たな光を当てる史論を集成。

東京・中日新聞 2023/10/08

2023:8./ 267p
978-4-12-005685-7
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

仁義なきヤクザ映画史～1910-2023～

伊藤 彰彦 著
文藝春秋
日本映画は「アウトロー」を如何に描いてきたのか? 関係者へのインタビューを通してヤクザ映画 100 年余の修羅に踏み込み、「暴力の近現代史」を描き出す。『文藝春秋』連載に大幅加筆、書き下ろしを加えて単行本化。

東京・中日新聞 2023/10/08

2023:8./ 309p
978-4-16-391735-1
¥2,365〔税込〕

伊藤野枝セレクション(平凡社ライブラリー　951)

栗原　康 編
伊藤　野枝 著
平凡社
明治から大正期の旧い習慣、偏見があるゆえの社会の問題に向き合い、ひとりの人間としての生き方を懸命に考え、訴え続けた女性活動家・アナキストの伊藤野枝。その作品を青鞜社時代、アナキスト時代に分けて収録する。

東京・中日新聞 2023/10/08

2023:8./ 382p
978-4-582-76951-7
¥1,870〔税込〕

そこまでして覚えるようなコトバだっただろうか?

松波太郎 著
書肆侃侃房
ひらがな、カタカナ、漢字…アトラクションさながら文字を乗り越えていく「あカ佐タな」をはじめ、コトバとも分かり合えない著者真骨頂の 4 篇を収めた短篇集。『群像』『文學界』等掲載に加筆修正し単行本化。

東京・中日新聞 2023/10/08

2023:5./ 317p
978-4-86385-576-2
¥2,090〔税込〕

リカバリー・カバヒコ

青山美智子 著
光文社
公園の古びたカバの遊具、カバヒコ。カバヒコに触れると、治したいところが回復するという。新築分譲マンション、アドヴァンス・ヒルに住まう人々は、それぞれの悩みをカバヒコに打ち明け…。『小説宝石』掲載を書籍化。

東京・中日新聞 2023/10/14

2023:9./ 234p
978-4-334-10052-0
¥1,760〔税込〕

佐佐木信綱と短歌の百年(りとむコレクション 130 篇)

三枝　昂之 著
KADOKAWA
唱歌「夏は来ぬ」、万葉集の基礎「校本万葉集」。そして、おのがじしに歌の徳、晴の歌…。和歌短歌の歴史を背負い、詩歌の近代を切り開いた佐佐木信綱。うたのあるべき姿を求め続けたその軌跡と短歌百年の本質に迫る。

東京・中日新聞 2023/10/15

2023:9./ 369p
978-4-04-884541-0
¥3,300〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

伝言

中脇 初枝 著
講談社
「尽忠報国」「一億玉砕」「五族協和」、そう信じていた。永遠に失われた、もう、どこにもない国。あの場所で見たこと、聞いたこと、託されたことを忘れない-。終戦間際の満洲を事実に基づき描く。『小説現代』掲載を書籍化。

東京・中日新聞 2023/10/15

2023:8./ 307p
978-4-06-532533-9
¥1,980〔税込〕

穏やかなゴースト 画家・中園孔二を追って

村岡 俊也 著
新潮社
今年は天才がいるよ-。東京藝大在学時より注目され、卒業した翌年には小山登美夫ギャラリーで初個展を開催。煌めきと謎に充ちた夭折の画家・中園孔二の生涯と作品に迫る本格評伝。『芸術新潮』掲載を大幅に加筆修正。

東京・中日新聞 2023/10/15、朝日新聞 2023/10/21

2023:8./ 221p
978-4-10-355291-8
¥3,630〔税込〕

昭和ブギウギ～笠置シヅ子と服部良一のリズム音曲～(NHK 出版新書　703)

輪島 裕介 著
ＮＨＫ出版
大衆音楽史研究の第一人者が、服部家で長年眠っていた楽譜草稿などの貴重資料を渉猟し、「ブギの女王」と「スウィングの申し子」のコンビが近代の芸能に残した決定的な業績を書き尽くす。NHK 朝ドラ「ブギウギ」関連書。

東京・中日新聞 2023/10/15、読売新聞 2023/10/15

2023:8./ 286p
978-4-14-088703-5
¥1,078〔税込〕

あなたが誰かを殺した(加賀恭一郎シリーズ)

東野 圭吾 著
講談社
閑静な別荘地で起きた連続殺人事件。愛する家族が奪われたのは偶然か、必然か。残された人々は真相を知るため「検証会」に集う。そこに、長期休暇中の刑事・加賀恭一郎が現れ…。

東京・中日新聞 2023/10/21

2023:9./ 309p
978-4-06-531179-0
¥1,980〔税込〕

列

中村 文則 著
講談社
ある動物の研究者である「私」はいつのまにか「列」に並んでいた-。先が見えず、最後尾も見えない。だれもが互いを疑い、時に軽蔑し、羨んでいる。この現実に生きる私達に救いは訪れるのだろうか。『群像』掲載を単行本化。

東京・中日新聞 2023/10/22

2023:10./ 157p
978-4-06-533339-6
¥1,540〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

世界はなぜ地獄になるのか(小学館新書　457)

橘 玲 著

小学館

リベラル化によって格差が拡大し、社会が複雑化して生きづらくなる。「誰もが自分らしく生きられる社会」を目指す社会正義の運動が、キャンセルカルチャーという異形のものへと変貌していく現象を考察する。

東京・中日新聞 2023/10/22

2023:8./ 286p
978-4-09-825457-6
¥1,078〔税込〕

サミュエルソンかフリードマンか～経済の自由をめぐる相克～

ニコラス・ワプショット 著

早川書房

20 世紀を代表する 2 人の偉大な経済学者、ポール・サミュエルソンとミルトン・フリードマンが生涯にわたって繰り広げた論争と、彼らの経済論が世界に与えた影響、知られざる交流の実態を、豊富な資料を基に描く。

東京・中日新聞 2023/10/22

2023:8./ 462p
978-4-15-210263-8
¥3,740〔税込〕

武器としての「中国思想」

大場 一央 著

東洋経済新報社

なぜ官僚は叩かれるのか。なぜ日本人は独創性がないと言われるのか。なぜ人間性と能力は比例するのか。気鋭の中国思想研究者が人生で大事なことを、孔子、孟子、老荘、墨子、韓非子など代表的な儒学者たちの人生から読み解く。

東京・中日新聞 2023/10/22

2023:10./ 216p
978-4-492-04744-6
¥1,980〔税込〕

真田の具足師

武川 佑 著

ＰＨＰ研究所

真田兵が着用している「不死身の具足」。その秘密を探るべく、徳川家康は南都奈良の具足師の息子、岩井与左衛門に真田潜入を命じ…。真田 vs 徳川の死闘の裏にある、職人たちの矜持に迫る書き下ろし戦国エンタテインメント。

東京・中日新聞 2023/10/28

2023:9./ 344p
978-4-569-85563-9
¥2,200〔税込〕

週末の縄文人

週末縄文人（縄・文） 著

産業編集センター

現代の道具を使わず、自然にあるものだけでゼロから文明を築く! YouTube「週末縄文人」で人気のサラリーマン 2 人組が、週末限定の縄文時代を生き抜くサバイバル・エッセイ。「火の起こし方」などの実用コラムも収録。

東京・中日新聞 2023/10/28

2023:8./ 175p
978-4-86311-375-6
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ぼくのコーヒー地図

岡本　仁 著
平凡社
コーヒーを飲む時間を幸福にしてくれるものは何だろう? 毎日のようにいろいろな場所でコーヒーを飲んでいる編集者・岡本仁によるコーヒー店案内。日本全国 58 都市・166 店を紹介する。

東京・中日新聞 2023/10/29

2023:9./ 327p
978-4-582-54474-9
¥2,420〔税込〕

楽園の犬

岩井 圭也 著
角川春樹事務所
英語教師をしていた麻田。日本海軍のスパイという密命を帯び、太平洋戦争勃発直前のサイパンに降り立った。世の中が戦争に突き進もうとする時、人はどこまで自分でいられるのか。『ランティエ』連載に書き下ろしを加え書籍化。

東京・中日新聞 2023/10/29

2023:9./ 401p
978-4-7584-1447-0
¥1,980〔税込〕

藤井聡太の指は震えない～番記者が追った“天才”棋士の 8 年～

岡村淳司 著
中日新聞社
将棋を愛し、将棋に愛された藤井聡太。デビュー前から取材を重ねてきた番記者が、棋士・藤井聡太の実像に迫る。また、2021 年、2022 年の王位戦七番勝負で戦った藤井聡太 VS 豊島将之の 2 局を杉本昌隆八段が解説する。

東京・中日新聞 2023/10/29

2023:9./ 223p
978-4-8062-0810-5
¥1,540〔税込〕

いつものラジオ～リスナーに聞いた 16 の話～

村上謙三久 著
本の雑誌社
私にとってラジオとは○○である-。学生や主婦など一般リスナーから、“ハガキ職人”と呼ばれる常連投稿者、番組の構成作家、人気パーソナリティまで。多彩な人々がラジオについて語るインタビュー集。

東京・中日新聞 2023/10/29

2023:8./ 365p
978-4-86011-481-7
¥2,090〔税込〕

化け者手本

蝉谷　めぐ実 著
KADOKAWA
鳥屋の藤九郎と元役者の魚之助のもとに、中村座の座元から事件の話が持ち込まれた。舞台の幕が下りたとき、変死体が客席に転がっていたという。演目は「仮名手本忠臣蔵」。真相解明に乗り出したふたりだったが…。

読売新聞 2023/10/01

2023:7./ 238p
978-4-04-113636-2
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

喋り屋いちろう

古舘 伊知郎 著
集英社
オレは実況で、猪木さんと闘う。弱い自分を一人前の男にしてくれようとしている、猪木さんの語り部として生きていく-。アントニオ猪木ら、往年のプロレスラーとの知られざる交流も描いたアナウンサー青春譚。

読売新聞 2023/10/01

2023:7./ 205p
978-4-08-790110-8
¥1,760〔税込〕

おくることば(新潮文庫　し-43-32)

重松 清 著
新潮社
小学6年生のユウたちは、先生から厳守するよう言われたルールを体育館裏でこっそり破り…。書下ろし小説「反抗期」、早稲田大学のゼミでの思いをつづった「夜明けまえに目がさめて」など、全6篇を収録する。

読売新聞 2023/10/01

2023:7./ 324p
978-4-10-134942-8
¥737〔税込〕

戯場國の怪人

乾 緑郎 著
新潮社
江戸市村座の桟敷席から謎の怪人物が恋着したのは、今を時めく名女形、瀬川菊之丞だった。芝居小屋の地下の闇奥で、永遠に燃える怨讐、狂恋、役者の業…。虚実皮膜のあわいを描く伝奇浪漫長篇。『小説新潮』連載に加筆修正。

読売新聞 2023/10/01

2023:7./ 318p
978-4-10-336193-0
¥2,420〔税込〕

メディアとテロリズム　新版(新潮新書　1013)

福田 充 著
新潮社
いまやテロリストはメディアで自らの存在をアピールして犯行を喧伝し、メディアはテロで数字を稼ぐ。この“共生関係”に出口はあるのか。メディア社会学者がその歴史と現状、解決策を示す。安倍元首相の分析等を加筆した新版。

読売新聞 2023/10/01

2023:9./ 252p
978-4-10-611013-9
¥924〔税込〕

心斎橋幻想～関西サスペンス集～(中公文庫　く 7-24)

日下三蔵 編
黒岩重吾 著
中央公論新社
三重の田舎町の郵便局に勤める20歳の女性が、大阪・心斎橋の高級喫茶店でアルバイトを始めた。金と欲望が渦巻く都会の夜に、彼女を待ち受けるものとは…。京阪神を舞台に、人間の情念と闇を描いた全7作品を収録する。

読売新聞 2023/10/01

2023:7./ 349p
978-4-12-207389-0
¥990〔税込〕

嘘つきのための辞書

エリー・ウィリアムズ 著
河出書房新社
19 世紀のロンドン。辞書編纂者ウィンスワースは、未完成の辞書にひそかに架空の項目を挿入することで日々の憂いを晴らしている。一方、現代の同社では、インターンが辞書に紛れ込んだ嘘を取り除く仕事と格闘し…。

読売新聞 2023/10/01

2023:5./ 300p
978-4-309-20880-0
¥2,750〔税込〕

女ことばってなんなのかしら?～「性別の美学」の日本語～(河出新書 063)

平野 卿子 著
河出書房新社
日本語の「女ことば」、それは日本人に根付く「性別の美学」の申し子である-。翻訳家として西洋語に長年接してきた著者が、女ことばを産んだ土壌と歴史的背景、およびそこから生じる日本の女と男の関係性を見つめ直す。

読売新聞 2023/10/01

2023:5./ 213p
978-4-309-63162-2
¥946〔税込〕

アミュレット・ホテル

方丈貴恵 著
光文社
<アミュレット・ホテル>は、武器も違法薬物もお取り寄せ可能、警察の捜査が一切入らない犯罪者たちの楽園。でもルールを破ったらホテル探偵があなたを必ず追いつめます…。本格ミステリ短編集。『ジャーロ』掲載を加筆修正。

読売新聞 2023/10/01

2023:7./ 316p
978-4-334-91543-8
¥1,870〔税込〕

アイヒマンと日本人(祥伝社新書 684)

山崎 雅弘 著
祥伝社
ナチ党政権下のドイツで、国策として遂行されたユダヤ人の大量虐殺を、ナチス親衛隊の中間管理職として差配したアイヒマン。その生涯 56 年の足跡をたどり、従順さが内包する危険性について警鐘を鳴らす。

読売新聞 2023/10/01

2023:8./ 240p
978-4-396-11684-2
¥1,045〔税込〕

医者が教える究極にととのうサウナ大全～超絶リラックスとパフォーマンスアップに効く科学的な方法～

加藤 容崇 著
ダイヤモンド社
サウナを研究しつくしたサウナー医師が、日常のパフォーマンスをあげ、美と健康をレベルアップする最高のサウナの入り方を、世界各国のエビデンスを元に教える。著者の偏愛サウナ・リスト付き。

読売新聞 2023/10/01

2023:7./ 254p
978-4-478-11750-7
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ふらり珍地名の旅(ちくま文庫　い 72-7)

今尾 恵介 著
筑摩書房
浮気町、茄子作、雨降り…地図で見つけた珍しい地名の町で、由来や地形をたずね歩き、珍地名と過去・現在・未来を生きる人の物語を辿る、ユーモアあふれる紀行エッセイ。地図・写真も多数収録する。

読売新聞 2023/10/01

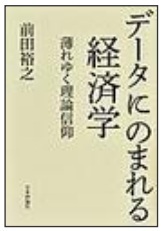
2023:8./ 317p
978-4-480-43895-9
¥924〔税込〕

漢俳～五・七・五の中国国民詩～

今田述 著
東方書店
「漢俳」とは、日本の「俳句」五七五に倣った中国の短詩。1980 年に生まれた漢俳を中国の国民詩にまで育て上げた、日中文化人の軌跡を辿る。2006 年開催の国際俳句交流会での中国漢俳学会会長・劉徳有の講演録も収録。

読売新聞 2023/10/01

2023:7./ 5p,222p
978-4-497-22312-8
¥1,980〔税込〕



データにのまれる経済学～薄れゆく理論信仰～

前田 裕之 著
日本評論社
データ分析の波が押し寄せている経済学界は、その波にのみこまれてしまうのか。「理論と実証」のはざまで苦闘してきた経済学者たちの足跡を追いつつ、経済学の草創期から現在に至るまでの実証分析の全体像を描く。

読売新聞 2023/10/01

2023:6./ 8p,328p,14p
978-4-535-54038-5
¥2,420〔税込〕

セイレーンの聖母～ハイスクール・オーラバスター～(白泉社文庫)

杜　真琴、若木　未生 著
白泉社
読売新聞 2023/10/01

2005:9./ 350p
978-4-592-88653-2
¥680〔税込〕

バスキア～光と影の 27 年～

パオロ・パリージ 著
花伝社
アートが巨大資本に呑み込まれていく時代、ポップ・アイコンの宿命を背負ったバスキアは、何と闘ったのか。ポップアートの巨匠、アンディ・ウォーホルとの出会いから、ドラッグによる早すぎる死までを描くグラフィックノベル。

読売新聞 2023/10/01

2023:8./ 131p
978-4-7634-2075-6
¥2,200〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

派閥の中国政治～毛沢東から習近平まで～

李 昊 著
名古屋大学出版会
権威主義体制において派閥が担う真の役割とは。権力闘争や政策論争に隠然たる影響を及ぼしてきた中国共産党の派閥集団の実態を描出し、建国以前から文化大革命や改革開放を経て現在に至る流れを新たな視点で再解釈する。

読売新聞 2023/10/01

2023:8./ 6p,358p,30p
978-4-8158-1131-0
¥6,380〔税込〕

食べて祀って～小さな村の祭りとお供え物～

坂本桃子 著
弦書房
里、川、山の恵みをいただき、自然との一体感のなかで、心地よい時が流れる-。熊本県八代市坂本町の祭りや習わしを、そこに登場する「食」に注目しつつ豊富な写真で紹介する。お供え物簡単レシピも掲載。

読売新聞 2023/10/01

2023:6./ 201p
978-4-86329-268-0
¥2,200〔税込〕

ラムズフェルドの人生訓

ドナルド・ラムズフェルド、井口 耕二 著
オデッセイコミュニケーションズ
著者のキャリアの過程から生まれた法則や自戒を込めた教訓に、人々の知恵や人生訓から得た新しい法則を加えながら、数百もの格言をまとめたもの。法則にまつわるストーリーや、フセイン、プーチンらとの逸話も掲載。

読売新聞 2023/10/01

2023:7./ 332p
978-4-908327-17-9
¥2,750〔税込〕

近代日本メディア議員列伝<6> 池崎忠孝の明暗

佐藤 卓己 著
創元社
明治から戦後にかけて<政治のメディア化>を体現したメディア議員を深掘りする。6は、政治家を目指して漱石門下となった文筆家・赤木桁平こと池崎忠孝を取り上げ、近代日本を生きた教養主義者の可能性と限界性を描出する。

読売新聞 2023/10/01、朝日新聞 2023/10/28

2023:6./ 547p
978-4-422-30106-8
¥2,970〔税込〕

ボクの故郷は戦場になった～樺太の戦争、そしてウクライナへ～(岩波ジュニア新書 973)

重延 浩 著
岩波書店
夢の新天地だった樺太。1945 年 8 月、ソ連軍の侵攻により、のどかで美しい島は戦場と化した。少年が見た戦争とはどのようなものだったのか。戦争の記憶と現在のウクライナの人々の姿とを重ねながら平和の大切さを訴える。

読売新聞 2023/10/08

2023:8./ 10p,191p
978-4-00-500973-2
¥1,034〔税込〕

暗い時代の人々(朝日文庫　も 25-1)

森まゆみ 著
朝日新聞出版
斎藤隆夫、山川菊栄、竹久夢二…。最も精神の抑圧された、1930〜45 年の「暗い時代」に、「精神の自由」を掲げて戦った 10 人の生の軌跡を、評伝の名手が描き出す。吉野作造の章を加えて文庫化。

読売新聞 2023/10/08

2023:9./ 350p
978-4-02-262082-8
¥990〔税込〕

鵺の碑(講談社ノベルス　[百鬼夜行シリーズ]　キ F-21　[10])

京極 夏彦 著
講談社
殺人の記憶を持つ娘に惑う作家。消えた 3 つの他殺体を追う刑事、失踪者を追い求める探偵…。発掘された古文書の鑑定に駆り出された古書肆は、縺れ合いキメラの如き様相を示す“化け物の幽霊”を祓えるか。単行本と同時刊行。

読売新聞 2023/10/08

2023:9./ 830p
978-4-06-515045-0
¥2,420〔税込〕

太陽諸島

多和田 葉子 著
講談社
消えた故郷の島国を探して、仲間たちと船の旅に出た Hiruko。沿岸の港町で謎めいた人物が乗り込んできて…。言葉で結びついた仲間たちの時空を超えた出会いと冒険を描く。連作長篇 3 部作、完結。『群像』連載を単行本化。

読売新聞 2023/10/08

2022:10./ 335p
978-4-06-529185-6
¥2,090〔税込〕

ペンギンの憂鬱(Crest books)

アンドレイ・クルコフ 著
新潮社
憂鬱症のペンギン・ミーシャと暮らす売れない小説家ヴィクトル。新聞の死亡記事を書く仕事をきっかけに次々起きる不可解な変死。不条理な世界を描く新ロシア文学。

読売新聞 2023/10/08

2004:9./ 315p
978-4-10-590041-0
¥2,200〔税込〕

タラント

角田 光代 著
中央公論新社
周囲の人々が“意義ある仕事”に邁進する中、心に深傷を負い、無気力な中年になったみのり。不登校の甥の手で、心にふたをした義足の祖父の過去が繙かれるとき、みのりの心は…。『読売新聞』連載に加筆修正し単行本化。

読売新聞 2023/10/08

2022:2./ 443p
978-4-12-005501-0
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

国境を越えたスクラム～ラグビー日本代表になった外国人選手たち～(中公文庫　や 77-1)

山川徹 著
中央公論新社
ラグビーは代表選手の国籍を問わない。リーチマイケル、ホラニ龍コリニアシ、アンドリュー・マコーミック…。なぜ彼らは桜のジャージを選んだのか。ラグビー日本代表となった海外出身選手たちを訪ね、その思いと足跡を追う。

読売新聞 2023/10/08

2023:8./ 311p
978-4-12-207409-5
¥1,034〔税込〕

ノウイットオール～あなただけが知っている～

森 バジル 著
文藝春秋
暴力団に高額な依頼料を突きつけられる女性名探偵。M-1 を目指す高校生コンビ。未来人から狙われる女子高生。魔界を追放された魔法使い。失恋続きの 30 歳女性。同じ街に暮らす近くて遠い人たちが紡ぐ、いびつで泣ける物語。

読売新聞 2023/10/08

2023:7./ 314p
978-4-16-391720-7
¥1,760〔税込〕

日本怪異妖怪事典<九州・沖縄>

闇の中のジェイ 著
笠間書院
全国の怪異妖怪を地方別で紹介する日本怪異妖怪事典。九州・沖縄編では、古代から現代まで九州・沖縄で語られた 1000 種類以上の怪異妖怪を掲載する。コラム、五十音順索引・部類別索引・属性別索引等付き。

読売新聞 2023/10/08

2023:10./ 521p
978-4-305-70991-2
¥3,190〔税込〕

戦争日記～鉛筆 1 本で描いたウクライナのある家族の日々～

オリガ・グレベンニク 著
河出書房新社
子どもたちの腕に名前と生年月日、連絡先を書いた。万が一、死んでしまっても、身元が分かるように…。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まってから地下生活をへて国外に脱出するまでの実体験を、文章と絵で綴った日記。

読売新聞 2023/10/08

2022:9./ 133p
978-4-309-20863-3
¥1,595〔税込〕

これまでの経済で無視されてきた数々のアイデアの話～イノベーションとジェンダー～

カトリーン・キラス＝マルサル 著
河出書房新社
なぜスーツケースにキャスターがつくまで 5000 年も要したのか。どうして男らしさ・女らしさに関する支配的な通説がお金を稼ごうとする市場の欲望より頑固だったのか。ジェンダーの観点からイノベーションについて考える。

読売新聞 2023/10/08

2023:8./ 299p
978-4-309-23137-2
¥2,310〔税込〕

FBI 捜査官が教える「しぐさ」の心理学<解読編>(河出文庫　ナ 1-2)

ジョー・ナヴァロ 著
河出書房新社
髪をいじる、視線を下げる、両腕を背後で組む…。体の各部分ごとのあらゆる「しぐさ」と心理的な意味を、すぐに調べられるクイックリファレンス形式で紹介。「FBI捜査官が教える「しぐさ」の心理学」の実用編。

読売新聞 2023/10/08

2023:8./ 259p
978-4-309-46786-3
¥990〔税込〕

買い負ける日本(幻冬舎新書　さ-5-5)

坂口 孝則 著
幻冬舎
かつて中国との水産物の争奪戦で問題になった「買い負け」。いまや、半導体、LNG、牛肉、人材といったあらゆる分野で日本の買い負けが顕著になっている。生々しい事例とともに、機能不全に陥った日本企業の惨状を暴く。

読売新聞 2023/10/08

2023:7./ 246p
978-4-344-98698-5
¥1,034〔税込〕

音楽と思索の廻廊

梅津 時比古 著
春秋社
音楽界に見られるコロナ禍の影響とは。日常の中の音楽、コンサート一期一会、表現者たちの本懐…。音の文化の現在を捉えるやわらかな眼差しで、新しい音楽批評の地平を切り開くエッセイ。『毎日新聞』連載を単行本化。

読売新聞 2023/10/08

2023:8./ 287p,13p
978-4-393-93610-8
¥2,420〔税込〕

民間企業からの震災復興～関東大震災を経済視点で読みなおす～(ちくま新書　1743)

木村 昌人 著
筑摩書房
関東大震災で壊滅した帝都。その復興を後押しした企業の英断とは。帝国ホテル、三菱、小田急電鉄など、経済活動の担い手である実業家・企業・財界の視点と活動に注目し、大震災からの復興過程を考察する。

読売新聞 2023/10/08

2023:8./ 316p
978-4-480-07572-7
¥1,100〔税込〕

ロシア語だけの青春(ちくま文庫　く 26-4)

黒田 龍之助 著
筑摩書房
ひたすらロシア語を聴き、発音し、暗唱する-。東京・代々木の雑居ビルにあった「ミール・ロシア語研究所」。その門をたたいた高校生が、全力でロシア語学習に取り組み、人気語学教師になるまでの日々を描いた青春記。

読売新聞 2023/10/08

2023:6./ 236p
978-4-480-43889-8
¥902〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

海賊たちは黄金を目指す～日誌から見る海賊たちのリアルな生活、航海、そして戦闘～

キース・トムスン 著
東京創元社
数か月も身体を洗えない海賊船での生活とは? どのくらいの収入があったのか? いかなる戦法で敵と戦ったのか? 7 人の海賊が書き残した日誌をもとに、カリブの海賊のリアルな姿を描く。

読売新聞 2023/10/08

2023:7./ 367p,13p
978-4-488-00398-2
¥2,970〔税込〕

彼女はマリウポリからやってきた

ナターシャ・ヴォーディン 著
白水社
2013 年のある夏、若くして逝った母の痕跡をたどる旅が始まった。手がかりは母の名前と残された 3 枚の写真、2 通の書類、そして「わたし」のおぼろげな記憶だけ…。失われた家族の歴史と、自らのルーツを探る瞠目の書。

読売新聞 2023/10/08

2023:1./ 348p,2p
978-4-560-09467-9
¥3,080〔税込〕

寒天(ものと人間の文化史　190)

中村 弘行 著
法政大学出版局
古代より伝わる心太(トコロテン)の歴史を皮切りに、摂津、薩摩、信州、天城、岐阜における寒天産業の盛衰をつぶさにたどり、樺太での寒天をめぐる知られざる闘争までを描き出した、初の本格通史。写真も多数掲載する。

読売新聞 2023/10/08

2023:7./ 303p,5p
978-4-588-21901-6
¥3,300〔税込〕

ことば、身体、学び～「できるようになる」とはどういうことか～(扶桑社新書 473)

為末大／今井むつみ 著
扶桑社
ことばが世界をつくるのか。世界がことばをつくるのか。元トップアスリート・為末大が「ことばと身体」についての体験や考察を述べ、そこから発生した問いを、言語心理学者・今井むつみとともに解いていく。

読売新聞 2023/10/08

2023:9./ 228p
978-4-594-09579-6
¥1,045〔税込〕

いつかみんな G を殺す

成田 名璃子 著
角川春樹事務所
東京の老舗超高級ホテルの総支配人、鹿野森優花。社長となるには、今日行われるイベントを成功させることが絶対条件だったが、居てはならない“G”を相手に、支配人、新人ホテルマン、清掃員などそれぞれの思惑が錯綜し…。

読売新聞 2023/10/08

2023:5./ 283p
978-4-7584-1442-5
¥1,980〔税込〕

イタリア絵画巡礼～芸術の主題をもとめて～

モーリス・ドニ 著
三元社
歴史的遺構を残しながらも再開発の波が街を変化させ、ファシズム運動の高まりを見せていた100年前のイタリア。フランス人画家ドニが、中世からルネサンス前後までに描かれた絵画を前に感じ、考えたことをつづった紀行文。

読売新聞 2023/10/08

2023:6./ 263p,9p
978-4-88303-552-6
¥2,750〔税込〕

里山～生命の小宇宙～

クレヴィス
里山を見つめ続けて半世紀。未来に贈りたい光景がここにある-。湖西に広がる棚田、あぜ焼きをする農夫、スイバの越冬葉…。忘れ去られたように遠のいてゆく、人と自然が共存していた風景を捉えた写真集。折り込みページあり。

読売新聞 2023/10/08

2023:7./ 225p
978-4-909532-98-5
¥3,300〔税込〕

サガレン～樺太/サハリン境界を旅する～(角川文庫　か 58-4)

梯　久美子 著
KADOKAWA
かつて、この国には“国境線観光”があった-。樺太/サハリン、旧名サガレン。北原白秋やチェーホフ、宮沢賢治らも訪れた境界の島。いったい何が彼らを惹きつけたのか? 賢治の行程を辿りつつ、近現代史の縮図をゆく。

読売新聞 2023/10/15

2023:7./ 361p
978-4-04-113978-3
¥1,386〔税込〕

宇宙になぜ、生命があるのか～宇宙論で読み解く「生命」の起源と存在～(ブルーバックス　B-2236)

戸谷 友則 著
講談社
この宇宙に地球外生命は存在するのか? インフレーション宇宙論、ビッグバン、物質の起源、アミノ酸・RNA、DNAの合成、そして生命の誕生…。宇宙物理学者が、名立たる物理学者たちも挑んだ究極の問いについて考える。

読売新聞 2023/10/15

2023:7./ 270p
978-4-06-532582-7
¥1,100〔税込〕

山は輝いていた～登る表現者たち十三人の断章～(新潮文庫　か-96-1)

神長 幹雄 編
新潮社
高尾の花に亡き父を重ねる田中澄江、深田久弥が死の際に見た早春の峰の光景…。静かな山旅から命を削る凍てついたヒマラヤの氷壁まで、登山史に刻まれる名文を厳選し、人が山に登る理由を探る。文庫オリジナル・アンソロジー。

読売新聞 2023/10/15

2023:8./ 295p
978-4-10-104611-2
¥737〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

空の怪物アグイー　改版(新潮文庫)

大江 健三郎 著
新潮社
60 年安保以後の不安な状況を背景に“現代の恐怖と狂気”を描く表題作ほか「不満足」「スパルタ教育」「敬老週間」「犬の世界」など。

読売新聞 2023/10/15

2002:9./ 298p
978-4-10-112607-4
¥737〔税込〕

沙林～偽りの王国～<上巻>(新潮文庫　は-7-30)

帚木 蓬生 著
新潮社
1995 年 3 月 20 日、東京の地下鉄車内で正体不明の液体が異臭を放つ。毒物はサリン。その治療法を熟知していた九州大学医学部は…。未曾有の事件の端緒から終結まで、医師として関与した目で「オウム」の全貌を描く。

読売新聞 2023/10/15

2023:9./ 415p
978-4-10-118830-0
¥825〔税込〕

沙林～偽りの王国～<下巻>(新潮文庫　は-7-31)

帚木 蓬生 著
新潮社
教祖逮捕により、次々に明らかになる殺害事件の詳細、洗脳の恐怖、化学兵器の数々。教団の闇に迫った医師はついに証人尋問に臨み…。未曾有の事件の端緒から終結まで、医師として関与した目で「オウム」の全貌を描く。

読売新聞 2023/10/15

2023:9./ 429p
978-4-10-118831-7
¥825〔税込〕

大久保利通～「知」を結ぶ指導者～(新潮選書)

瀧井 一博 著
新潮社
富国強兵と殖産興業に突き進んだ強権的な指導者像の裏で、人の才を見出して繋ぎ、地方からの国づくりを目指した大久保利通。膨大な史資料を読み解き、「知の政治家」としての新たなイメージを浮かび上がらせる。

読売新聞 2023/10/15

2022:7./ 521p,5p
978-4-10-603885-3
¥2,420〔税込〕

聖地巡礼～世界遺産からアニメの舞台まで～(中公新書 2306)

岡本　亮輔 著
中央公論新社
信仰心とは無縁の観光客が数多く足を運ぶ「聖地」。サンティアゴ巡礼、四国遍路、B 級観光地、パワースポット、アニメの舞台など、多様な事例を通して、21 世紀の新たな宗教観や信仰のあり方を読み解く。

読売新聞 2023/10/15

2015:2./ 5p,228p
978-4-12-102306-3
¥858〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

トルコ現代史～オスマン帝国崩壊からエルドアンの時代まで～(中公新書 2415)

今井　宏平 著

中央公論新社

1923 年に建国したトルコ共和国。革命を主導し、建国の父となったムスタファ・ケマルは、6 原則を掲げ国家経営の舵を取った。それから約 1 世紀。ケマルが掲げた 6 原則を通して、トルコの百年の足跡を振り返る。

読売新聞 2023/10/15

2017:1./ 3p,320p
978-4-12-102415-2
¥990〔税込〕

イラク水滸伝

高野 秀行 著

文藝春秋

「水滸伝」さながら権力に抗うアウトローや迫害されたマイノリティが逃げ込むイラクの謎の巨大湿地帯<アフワール>とは? “現代最後のカオス”に挑んだノンフィクション。『オール讀物』連載を加筆・修正して単行本化。

読売新聞 2023/10/15

2023:7./ 477p 図版 12p
978-4-16-391729-0
¥2,420〔税込〕

腹を空かせた勇者ども

金原 ひとみ 著

河出書房新社

私ら人生で一番エネルギー要る時期なのに。ハードモードな日常ちょっとえぐすぎん? 陽キャ中学生レナレナが、「公然不倫」中の母と共に未来をひらく、知恵と勇気の爽快青春長篇。『文藝』掲載を単行本化。

読売新聞 2023/10/15

2023:6./ 249p
978-4-309-03106-4
¥1,760〔税込〕

治験島

岡田秀文 著

光文社

治験が終わるまで、出ることは許されない治験島。男性医師の不可解な転落死、島内で発見された女性の白骨死体…。新薬治験の現場で、いかに犯行が起こったのか。治験という“密事”を舞台に描く、ノンストップ・ミステリー。

読売新聞 2023/10/15

2023:6./ 300p
978-4-334-91523-0
¥2,145〔税込〕

日本語が消滅する(幻冬舎新書　や-9-2)

山口 仲美 著

幻冬舎

各地で言語が消滅するのはどんな時か、日本語はどんな時に最も消滅しやすいのか、それを防ぐには。これらの問題に明快な解答を与えつつ、オノマトペが豊富で、繊細な意味合いまで出せる日本語の面白さ・底力を楽しく解説する。

読売新聞 2023/10/15

2023:6./ 302p
978-4-344-98696-1
¥1,078〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

「逆張り」の研究

綿野 恵太 著
筑摩書房
「批評」ではなく「運動」、「おじさん」ではなく「女性」「若者」、「傍観者」ではなく「当事者」が称揚され、「逆」が嫌われた 2010 年代とは何だったのか…。記者に「逆張り」認定された批評家が「逆張り」現象を考える。

読売新聞 2023/10/15

2023:6./ 254p
978-4-480-82383-0
¥1,980〔税込〕

近代日本暗殺史(PHP 新書　1359)

筒井 清忠 著
ＰＨＰ研究所
暗殺犯たちの隠れた動機とは? 岩倉具視暗殺未遂事件、大久保利通暗殺事件、大隈重信爆弾遭難事件など、明治と大正の暗殺事件を丁寧に語り、さらに暗殺に同情的な日本の文化ができた歴史的背景について考察する。

読売新聞 2023/10/15

2023:7./ 198p
978-4-569-85509-7
¥1,100〔税込〕

よかれと思ってやったのに～男たちの「失敗学」入門～(双葉文庫　き-37-01)

清田隆之 著
双葉社
人の話を聞かない、謝らない、すぐに不機嫌になる、話し合いができない…。女性たちをイライラモヤモヤさせている「男性のあるある行動」を 20 のテーマに分類。失望される男性に共通する傾向や問題点を紹介する。

読売新聞 2023/10/15

2023:9./ 276p
978-4-575-71498-2
¥759〔税込〕

文化外交の世界

桑名 映子 編
山川出版社
19 世紀～21 世紀初頭の文化を通じた国際外交研究の論集。日本を含めイギリス、フランス、ドイツ、オーストリア、ハンガリーなど広範な範囲を網羅し、近代・現代の外交におけるソフト・パワーの重要性を文化の視点で論じる。

読売新聞 2023/10/15

2023:10./ 10p,300p,63p
978-4-634-67253-6
¥8,800〔税込〕

聖地の紛争とエルサレム問題の諸相～イスラエルの占領・併合政策とパレスチナ人～

山本　健介 著
晃洋書房
ますます混迷を深めていくエルサレム問題、そしてその中核に位置する「聖地の紛争」。争いはいかに始まり、どのように続いてきたのか。パレスチナ人の視点を軸に、複雑化する紛争の多様な貌を照らし出す。

読売新聞 2023/10/15

2020:2./ 5p,296p
978-4-7710-3284-2
¥6,820〔税込〕

ある限界集落の記録～昭和二十年代の奥山に生きて～

小谷裕幸 著

冨山房インターナショナル

奥山の水事情、家の造り、四季のいとなみと行事、日常の楽しみと苦労…。岡山県新見市の指野集落を舞台に、戦中・戦後、家族が辿った人生と、高度経済成長期以前の生活を、ドイツ文学者が鎮魂の書として綴った貴重な記録。

読売新聞 2023/10/15

2023:8./ 228p
978-4-86600-116-6
¥2,200〔税込〕

昭和歌謡ものがたり(アルソス新書 701)

松井信幸 著

アルソス

スーダラ節、恋の季節、勝手にしやがれ…。昭和歌謡が変容を始めた昭和 30 年代を皮切りに、時代を代表するヒット曲を取り上げ、その制作秘話や歌い手、作り手にまつわるエピソードなどをまとめる。各曲の冒頭には歌詞を掲載。

読売新聞 2023/10/15

2023:7./ 377p
978-4-910512-06-8
¥1,540〔税込〕

仙台あらえみし日和～杜の都で本と暮らす～

土方正志 著

プレスアート

夢野久作未発表書簡発見、被災地発信の文学賞、伝説の郷土作家、日本野球黎明期と仙台…。仙台で出版社&古本屋を営む<出版人>が、そのウラ話・こぼれ話を徒然なるままに綴る。『河北新報』日曜版掲載を加筆修正し単行本化。

読売新聞 2023/10/15

2023:6./ 413p
978-4-9912938-1-8
¥2,750〔税込〕

盧溝橋事件から日中戦争へ

岩谷　將 著

東京大学出版会

なぜ局地紛争は全面戦争となったのか。1937(昭和 12)年 7 月 7 日、偶発的に起きた発砲事件から、上海、南京での戦闘を経て長期全面戦争となっていく過程を史料をもとに跡付け、戦争の本質に迫る。人物略歴一覧等も収録。

読売新聞 2023/10/15、朝日新聞 2023/10/21

2023:8./ 308p
978-4-13-020314-2
¥5,280〔税込〕

モンテ・クリスト伯<1>　改版(岩波文庫　赤 533-1)

アレクサンドル・デュマ 著

岩波書店

200 年の長い間、世界各国で圧倒的な人気をあつめてきた『巌窟王』の完訳。無実の罪によって投獄された若者ダンテスは、14 年間の忍耐と努力ののち脱出に成功、モンテ・クリスト島の宝を手に入れて報恩と復讐の計画を着々進めてゆく。

読売新聞 2023/10/22

2007:12./ 422p
978-4-00-325331-1
¥1,122〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

プロダイバーのウニ駆除クエスト～環境保全に取り組んでわかった海の面白い話～

中村　拓朗（スイチャンネル）　著
KADOKAWA
海の砂漠化現象“磯焼け”の原因のひとつとして、深刻な問題となっているウニの増殖。長崎の海でウニ駆除はじめ、5 年以上にわたって環境保全活動を続けるプロダイバーが綴る、今の“海のリアル”がわかる冒険譚エッセイ。

読売新聞 2023/10/22

2023:9./ 239p
978-4-04-606420-2
¥1,760〔税込〕

トヨタの EV 戦争～EV を制した国が、世界の経済を支配する～

中西 孝樹 著
講談社
日本経済の浮沈をかけた米・欧・中との EV 覇権争い。正解の見えない戦いに、トヨタはどう立ち向かうのか? 自動車業界 No.1 アナリストが、その真実をダイナミックに精緻に描き出す。

読売新聞 2023/10/22

2023:7./ 350p
978-4-06-533025-8
¥1,980〔税込〕

夜に啼く森(小学館文庫 カ 3-5)

リサ・ガードナー 著
小学館
ジョージア州の山道で女性の遺骨の一部が発見された。ボストン市警の部長刑事 D・D・ウォレンは、自警団の主宰者フローラらと現地に飛ぶ。フローラはかつて、472 日間にわたり異常犯罪者ジェイコブに監禁された生還者で…。

読売新聞 2023/10/22

2023:9./ 540p
978-4-09-407249-5
¥1,364〔税込〕

ウナギが故郷に帰るとき(新潮文庫　シ-38-28)

パトリック・スヴェンソン 著
新潮社
不思議な生態で人々を魅了してきたウナギ。その謎に挑んだ古今の学者たちの苦闘、ウナギとともに生きる漁師の暮らしぶり、幼き日の父とのウナギ釣りの思い出などを縦横に語り、生きることの意味を静かに問う。

読売新聞 2023/10/22

2023:8./ 371p,6p
978-4-10-220171-8
¥880〔税込〕

アトツギベンチャー思考～社長になるまでにやっておく 55 のこと～

山野 千枝 著
日経ＢＰ社
どうしたら家業を円滑に引き継ぎ、さらに新たなビジネスを立ち上げられるか。「ベンチャー型事業承継」の考え方と進め方について、55 の視点から解説する。『日経トップリーダー』など掲載に大幅加筆し、単行本化。

読売新聞 2023/10/22

2023:10./ 231p
978-4-296-20308-6
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

滅ぼす<上>

ミシェル・ウエルベック 著
河出書房新社
2027 年のフランス大統領選を前に、謎のテロ組織が暗躍するなか、経済・財務大臣秘書官のポールは、妻との関係に回復の兆しを見出す。やがて現大統領の肝煎りで、テレビの人気タレント、サルファティが立候補し…。

読売新聞 2023/10/22

2023:7./ 308p
978-4-309-20887-9
¥2,420〔税込〕

滅ぼす<下>

ミシェル・ウエルベック 著
河出書房新社
情報部で活躍した父のファイルには、謎のテロリストの犯行声明が保存されていた。経済・財務大臣の秘書官ポールの家族は、要介護高齢者施設で病状を悪化させる父を救出するため極右団体の力を借りて…。

読売新聞 2023/10/22

2023:7./ 341p
978-4-309-20888-6
¥2,585〔税込〕

犬が看取り、猫がおくる、しあわせのホーム

石黒謙吾 著
光文社
最期の時まで寄り添う犬猫たち。人の死期を悟る奇跡の犬・文福たちと暮らす老人養護施設には、今日もあたたかな時間が流れている。このホームで 11 年間にあったエピソードと、著者が現場で感じたことを写真とともに綴る。

読売新聞 2023/10/22

2023:9./ 159p
978-4-334-10061-2
¥1,760〔税込〕

アントニーとクレオパトラ(大修館シェイクスピア双書 第 2 集)

佐藤達郎 編
大修館書店
原文で読めるシェイクスピア。歴史の流れに抗い永遠の愛を希求しつつも、政治の力に屈した男と女の滅びの美学を謳いあげた恋愛悲劇。

読売新聞 2023/10/22

2023:8./ 12p,320p
978-4-469-14266-2
¥3,740〔税込〕

リスペクト

ブレイディみかこ 著
筑摩書房
ホームレス・シェルターに住んでいたシングルマザーたちが理不尽な理由で退去を迫られた。女性たちは連帯して立ち上がり…。2014 年にロンドンで実際に起きた占拠事件をモデルとした小説。『ちくま』連載に加筆。

読売新聞 2023/10/22

2023:8./ 273p
978-4-480-81573-6
¥1,595〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

老い方、死に方(PHP 新書 1362)

養老 孟司 著
ＰＨＰ研究所
養老孟子が「生物学」「認知症と介護」「都市と田舎の老後の暮らしの違い」「自我の在り方」の四つの視点から、小林武彦、阿川佐和子らと語り合い、老いと死を見つめる対談集。『Voice』掲載を加筆し新書化。

読売新聞 2023/10/22

2023:8./ 221p
978-4-569-85528-8
¥990〔税込〕

100 兆円で何ができる?～地球を救う 10 の思考実験～

Rowan Hooper 著
化学同人
世界から貧困をなくす、あらゆる病気を治す、地球を再設計する、世界を菜食主義に変える…。地球を苦しめる問題を 10 個に絞り込み、それぞれに 100 兆円ずつ使った場合、どのように解決していけるのかを思考実験する。

読売新聞 2023/10/22

2023:7./ 360p
978-4-7598-2095-9
¥3,080〔税込〕

皇室財政の研究～もう一つの近代日本政治史～

加藤 祐介 著
名古屋大学出版会
ヴェールに覆われた皇室財政の姿を初めてトータルに解明した書。御料地経営や証券投資、恩賜などの経済・財政の展開から、皇室の公私や民衆との関係を位置づけ直すとともに、戦後の皇室が抱える葛藤を照らし出す。

読売新聞 2023/10/22

2023:7./ 7p,388p,11p
978-4-8158-1126-6
¥6,930〔税込〕

政党と官僚の近代～日本における立憲統治構造の相克～

清水　唯一朗 著
藤原書店
なぜ日本の首相は官僚出身なのか?「政党と官僚の対立」という通説を問い直し、両者の密接な関係史の中に政党政治の誕生を跡付け、その崩壊をもたらした構造を見出しながら、近代日本における統治構造の形成と展開を論じる。

読売新聞 2023/10/22

2007:1./ 334p
978-4-89434-553-9
¥5,280〔税込〕

西洋の護符と呪い～プリニウスからポップカルチャーまで～

尾形希和子 著
八坂書房
移民によってアメリカ大陸に運ばれ、ハードロックのシンボルとなったイタリアの「邪視除け」のジェスチャーなど、地域を越えて過去から現代へと繋がる護符やまじないを、神話・民間信仰・美術工芸・ポップカルチャー等に追う。

読売新聞 2023/10/22

2023:7./ 238p
978-4-89694-342-9
¥2,420〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

スポーツ 3.0

平尾剛 著
ミシマ社
勝利至上主義、迷走する体育・部活、コロナ下の五輪強行、甲子園の歪さ、テクノロジーの浸透…。スポーツを「する」「観る」「教える」をアップデートするために、想いを綴る。『みんなのミシマガジン』連載を加筆し書籍化。

読売新聞 2023/10/22、朝日新聞 2023/10/28

2023:9./ 214p
978-4-909394-92-7
¥2,200〔税込〕

あなたに語る日本文学史(角川ソフィア文庫 C123-1)

大岡　信 著
KADOKAWA
古より日本の文学は歌を中心に栄えた。やがて民衆へも広まった歌は、芭蕉や蕪村、子規らのもとで大衆芸術としての地位を獲得してゆく。日本のことばの真の姿を歌と詩に探り続けた詩人が、次世代のために語り伝えた日本文学史。

読売新聞 2023/10/29

2023:8./ 589p
978-4-04-400783-6
¥1,815〔税込〕

東海道をゆく(十時半睡事件帖)

白石　一郎 著
講談社
わが子の死に目にあえぬならば、それも定めでござる。重病の息子を見舞うため、帰郷の旅に出る十時半睡は、敢えて陸路をゆっくりと進む。「死」と「運命」を見つめた、人気シリーズ。

読売新聞 2023/10/29

2002:2./ 244p
978-4-06-211191-1
¥1,870〔税込〕

霜月記

砂原 浩太朗 著
講談社
18 歳の草壁総次郎は、前触れなく致仕して失踪した父に代わり町奉行となった。名判官と謳われた祖父・左太夫は、若さにあふれた総次郎を眩しく思って過ごしていたが…。神山藩シリーズ第 3 弾。『小説現代』掲載を単行本化。

読売新聞 2023/10/29

2023:7./ 284p
978-4-06-532127-0
¥1,760〔税込〕

の、すべて～On a Swing～

古川 日出男 著
講談社
美貌と弁舌で支持を集め、「スサノオ」と呼ばれた二世政治家・大沢光延がテロに遭った。その伝記を制作しようとする芸術家・河原真古登が出発点に見出したのは、一人の巫女との「運命の恋」だった…。『群像』連載を単行本化。

読売新聞 2023/10/29

2023:9./ 557p
978-4-06-532947-4
¥3,300〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

国銅<上>(新潮文庫)

帚木 蓬生 著
新潮社
歯を食いしばり一日を過ごす。星を数える間もなく眠りにつく。都に献上する銅をつくるため、若き国人は懸命に働いた。優しき相棒、黒虫。情熱的な僧、景信。忘れられぬ出会いがあった。そしてあの日、青年は奈良へ旅立った。大仏の造営の命を受けて。

読売新聞 2023/10/29

2006:2./ 432p
978-4-10-128816-1
¥781〔税込〕

国銅<下>(新潮文庫)

帚木 蓬生 著
新潮社
華やかな奈良の都で、国人は大仏造営の作業に打ちこんでいた。ともに汗を流す仲間たちと友情を築いた。短き命を燃やす娘と、逢瀬を重ねた。薬草の知識で病める人びとを救い、日々を詩に詠む。彼は、確かな成長を遂げていた。

読売新聞 2023/10/29

2006:2./ 447p
978-4-10-128817-8
¥781〔税込〕

脳はみんな病んでいる(新潮文庫　い-101-6)

池谷 裕二／中村 うさぎ 著
新潮社
どこまでが「正常」でどこからが「異常」? AI を脳に組み込むとどうなる? 10 月生まれが一番長生きする理由は? 知れば知るほど面白い“脳”の魅力を、脳研究者と人気作家が語りつくす。

読売新聞 2023/10/29

2023:8./ 353p,19p
978-4-10-132925-3
¥781〔税込〕

贖罪<上>(新潮文庫)

イアン・マキューアン 著
新潮社
読売新聞 2023/10/29

2008:2./ 318p
978-4-10-215723-7
¥607〔税込〕

贖罪<下>(新潮文庫)

イアン・マキューアン 著
新潮社
読売新聞 2023/10/29

2008:2./ 325p
978-4-10-215724-4
¥649〔税込〕

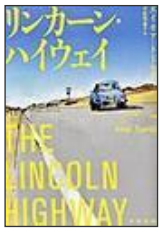
MARUZEN-YUSHODO

誓願(ハヤカワ epi 文庫 110)

マーガレット・アトウッド 著
早川書房
過酷な男尊女卑政策をとる独裁国家ギレアデ。司令官の娘はよき妻となるための教えに従う。中枢では指導者の小母が秘かな賭けに出る。隣国の女子高校生は危険な任務に身を投じ…。3 人の女性がいま、国家の闇に挑む。

読売新聞 2023/10/29

2023:9./ 701p
978-4-15-120110-3
¥1,694〔税込〕



リンカーン・ハイウェイ

エイモア・トールズ 著
早川書房
旅の道づれが、忘れられない友だちになる-。1954 年、アメリカ中西部。18 歳のエメットは、奪われた愛車を取り戻すため、弟とニューヨークへ向かうはめに…。少年たちの出会いと 10 日間の冒険を描いたロードノヴェル。

読売新聞 2023/10/29

2023:9./ 679p
978-4-15-210265-2
¥4,070〔税込〕

家で死ぬということ～ひとり暮らしの親を看取るまで～

石川 結貴 著
文藝春秋
入院も施設入所も拒み、住み慣れた家でひとり暮らしを続けた父。終末期の父に付き添い、介護し、死にゆく傍らでその一部始終を見ていた著者が、父と自身に降りかかった様々な出来事を綴り、「家で死ぬ」というリアルを伝える。

読売新聞 2023/10/29

2023:8./ 254p
978-4-16-391743-6
¥1,760〔税込〕

御宿かわせみ(文春文庫)

平岩 弓枝 著
文芸春秋
東吾とるいの活躍で大評判の「御宿かわせみ」シリーズ。著者が第一巻から改訂しなおして決定版に。あわせて本文活字も 9 ポになった

読売新聞 2023/10/29

2004:3./ 299p
978-4-16-716880-3
¥682〔税込〕

隠し剣秋風抄(文春文庫)

藤沢 周平 著
文芸春秋
酒乱剣、女難剣、好色剣など剣士の技はいよいよ多彩になり、女達との官能的描写と共に息もつかせぬ展開に。「孤影抄」の姉妹篇

読売新聞 2023/10/29

2004:6./ 384p
978-4-16-719239-6
¥814〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

鬼平犯科帳<1> 決定版(文春文庫 い 4-101)

池波 正太郎 著
文藝春秋
斬り捨て御免の権限を持つ幕府の火付盗賊改方の長官・長谷川平蔵。義理と人情とユーモアを心得た江戸のヒーローの活躍を描く。1 は、「啞の十蔵」「老盗の夢」など全 8 編を収録。デザインの異なる 2 種類のジャケット付き。

読売新聞 2023/10/29

2016:12./ 372p
978-4-16-790763-1
¥825〔税込〕

幽玄 F

佐藤 究 著
河出書房新社
少年は空を夢見、そして空へ羽ばたく。空を支配する重力・G に取り憑かれ、戦闘機 F-35-B を操る航空宇宙自衛隊員・易永透。日本・タイ・バングラデシュを舞台に描かれる、魂の垂直離陸。『文藝』掲載を単行本化。

読売新聞 2023/10/29

2023:10./ 328p
978-4-309-03138-5
¥1,870〔税込〕

日本のコミュニケーションを診る～遠慮・建前・気疲れ社会～(光文社新書 1272)

パントー・フランチェスコ 著
光文社
なぜ周りに流されてしまうのか。なぜ人の弱さを認められないのか。なぜ「勝ち組/負け組」という考え方をするのか-。イタリア人精神科医が、日本社会の独特なコミュニケーションによって心身を害する危険性に警鐘を鳴らす。

読売新聞 2023/10/29

2023:9./ 202p
978-4-334-10066-7
¥946〔税込〕

山の民<上> 新版

江馬 修 著
春秋社
江戸幕府の直轄地だった飛騨高山に、明治新政府の代表者として竹沢寛三郎が派遣されるが、新政府の方針に反して罷免される。替わって、元水戸浪士・梅村速水が新たに県知事に任命され…。飛騨高山の農民一揆、梅村騒動を描く。

読売新聞 2023/10/29

2014:9./ 7p,439p
978-4-393-43513-7
¥3,080〔税込〕

山の民<下> 新版

江馬 修 著
春秋社
明治政府に任命された梅村知事の強引なやり方に、農民たちは極度な恐怖を抱くようになる。しだいに孤立していく梅村。様々な小さな齟齬の積み重なりが、ついに農民一揆を招来し…。飛騨高山の農民一揆、梅村騒動を描く。

読売新聞 2023/10/29

2014:9./ 426p
978-4-393-43514-4
¥3,080〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

いたみを抱えた人の話を聞く

近藤 雄生／岸本 寛史 著

創元社

目の前の人の「いたみ」とどう向き合うか。多くの吃音当事者に話を聞いてきたノンフィクション作家が聞き手となり、患者一人ひとりの物語に耳を傾けながら治療を行う緩和ケア医と言葉を交わした記録。

読売新聞 2023/10/29

2023:9./ 222p
978-4-422-11812-3
¥1,870〔税込〕

OB サミットの真実～InterAction Council of Former Heads of State and Government～

渥美桂子 著

ダイヤモンド社

1983 年に福田赳夫の主唱で創設された、世界の元首相たちが地球規模の課題を議論する「OB サミット」。35 年間通訳・事務局責任者として最も近くで福田たちを見つめてきた著者が、その歴史やメンバーの横顔などを綴る。

読売新聞 2023/10/29

2023:8./ 290p
978-4-478-11867-2
¥1,760〔税込〕

現代フランス哲学(ちくま新書　1749)

渡名喜 庸哲 著

筑摩書房

若者や労働者を巻き込み、時代や経験に深く根ざす思想運動として発展した現代フランス哲学。構造主義から政治、宗教、ジェンダー、科学と技術、エコロジーまで。変容する時代を鋭くとらえる強靭な思想の広がりを一望する。

読売新聞 2023/10/29

2023:9./ 328p,22p
978-4-480-07574-1
¥1,210〔税込〕

三人書房(ミステリ・フロンティア 117)

柳川 一 著

東京創元社

大正 8 年東京、平井太郎=江戸川乱歩は弟 2 人とともに<三人書房>という古書店を開く。店には松井須磨子の遺書らしい手紙をはじめ、奇妙な謎が次々と持ち込まれ…。『紙魚の手帖』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

読売新聞 2023/10/29

2023:7./ 223p
978-4-488-02022-4
¥1,870〔税込〕

足軽仁義～三河雑兵心得～(双葉文庫 い-56-01)

井原忠政 著

双葉社

喧嘩のはずみで人を死なせ、村を出奔した 17 歳の茂兵衛は、松平家康の家来である夏目次郎左衛門に拾われる。家康と一向宗が対立し、熱心な一向宗門徒の次郎左衛門は一揆側に走った。茂兵衛も謀反人になってしまい…。

読売新聞 2023/10/29

2020:2./ 292p
978-4-575-66987-9
¥693〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

キャラクターたちの運命論～『岸部露伴は動かない』から『鬼滅の刃』まで～(平凡社新書　1040)

植　朗子 著

平凡社

伝承文学の研究者がマンガ 6 作品を読み、父殺し、錬金術、異類婚姻譚、死者と呪いなど、物語に登場するモティーフの意味を分析。キャラクターたちの運命と物語の構造をひもとき、新たな視点で解釈する。

読売新聞 2023/10/29

2023:10./ 237p
978-4-582-86040-5
¥1,056〔税込〕

八朔の雪～みをつくし料理帖～(ハルキ文庫)

高田　郁 著

角川春樹事務所

読売新聞 2023/10/29

2009:5./ 271p
978-4-7584-3403-4
¥607〔税込〕

あきない世傳金と銀<1>　源流篇(ハルキ文庫　た 19-15)

高田　郁 著

角川春樹事務所

物がさっぱり売れない享保期に生を受けた幸。父から「商は詐なり」と教えられて育つが、齢 9 つで大坂天満の呉服商「五鈴屋」に奉公へ出されることに。番頭に才を認められ、徐々にあきないに心を惹かれていき…。

読売新聞 2023/10/29

2016:2./ 279p
978-4-7584-3981-7
¥638〔税込〕

セミコロン～かくも控えめであまりにもやっかいな句読点～

セシリア・ワトソン、萩澤　大輝、倉林　秀男 著

左右社

英文法の世界でいくたびも論争を巻き起こしてきた記号「;(セミコロン)」。英文法家たちの仁義なき論争、校正者に句読点の使い方を指摘されてブチ切れたマーク・トウェインなど、句読点をめぐる波乱万丈の文化史を紹介する。

読売新聞 2023/10/29

2023:9./ 188p
978-4-86528-383-9
¥2,420〔税込〕

子どもの十字軍

ベルトルト・ブレヒト 著

ひだまり舎

探し求めるのは平和な土地 大砲もなく 銃もなく 故郷とはちがう安らぎの土地-。ドイツの詩人、劇作家ブレヒトの不朽の叙事詩を現代によみがえらせた、平和を考える絵本。

読売新聞 2023/10/29

2023:8./ 25p
978-4-909749-16-1
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

種痘伝来～日本の<開国>と知の国際ネットワーク～

アン・ジャネッタ 著
岩波書店
牛痘種痘の最新技術を日本に伝え、広めようとする苦闘のなかで形成されていった国内外の医師や学者の知的ネットワークを辿りながら、その後の日本の近代化を準備することにもなった彼らの営みを生き生きと描き出す。

日本経済新聞 2023/10/07

2013:12./ 15p,216p,38p
978-4-00-025936-1
¥4,400〔税込〕

ご冗談でしょう、ファインマンさん<上>(岩波現代文庫　社会 5)

R.P.ファインマン 著
岩波書店
少年時代より変わらぬ、あくなき探求心といたずらっ気…。20 世紀を代表する物理学者が、奇想天外な話題に満ちた自らの人生をユーモアたっぷりに語る。

日本経済新聞 2023/10/07

2000:1./ 356p
978-4-00-603005-6
¥1,430〔税込〕

ご冗談でしょう、ファインマンさん<下>(岩波現代文庫　社会 6)

R.P.ファインマン 著
岩波書店
少年時代より変わらぬ、あくなき探求心といたずらっ気…。20 世紀を代表する物理学者が、奇想天外な話題に満ちた自らの人生をユーモアたっぷりに語る。

日本経済新聞 2023/10/07

2000:1./ 334p
978-4-00-603006-3
¥1,540〔税込〕

脳のなかの幽霊(角川文庫)

Ｖ・Ｓ・ラマチャンドラン／サンドラ・ブレイクスリー 著
角川書店
「わくわくするほどおもしろい」脳の世界を、当代きっての神経科学者であり、幻肢の専門家である著者が、独自の切り口でわかりやすく読み解いてみせた、歴史に残る名著!

日本経済新聞 2023/10/07

2010:12./ 496p
978-4-04-298211-1
¥1,100〔税込〕

マリコ/マリキータ(角川文庫)

池沢　夏樹 著
角川書店
民俗学者の僕は、グアムでマリコに出逢う。子どもたちにマリキータと呼ばれ、自由気ままに暮らす彼女は、ごく自然に僕の部屋でシャワーを浴び、楽しいお喋りをし、ベッドを共にして帰った。表題作の他、4 篇を収録。

日本経済新聞 2023/10/07

2006:5./ 240p
978-4-04-382201-0
¥523〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

波の鼓動と風の歌(集英社文庫　さ 71-1)

佐藤 さくら 著
集英社
湖に転落した女子高生のナギは、人と獣の“まじりもの”の姿で目覚めた。岩牢に囚われた彼女を救ったのは、紺碧の瞳をした少年。元の生活に戻ることを願い、共に都を目指すが…。冒険ファンタジー。

日本経済新聞 2023/10/07

2023:9./ 431p
978-4-08-744569-5
¥979〔税込〕

ドゥルガーの島

篠田 節子 著
新潮社
日本人ダイバーがインドネシアの小島で発見した、海中に聳え立つ仏塔。民族史を揺るがす遺跡の真贋をめぐり、人々の欲望が激突し…。現代に残された最後の神秘を追う冒険エンタテイメント。『小説新潮』連載を単行本化。

日本経済新聞 2023/10/07

2023:8./ 477p
978-4-10-313366-7
¥2,420〔税込〕

恐怖の正体～トラウマ・恐怖症からホラーまで～(中公新書　2772)

春日武彦 著
中央公論新社
うじゃうじゃと蠢く虫の群れ、密集したブツブツの集合体、鋭い突端、高所や閉所、人形、屍体…。なぜ人は「それ」に恐怖を感じるのか? 精神科医・作家として活躍する著者が、人間心理の根源的な謎に迫る。

日本経済新聞 2023/10/07

2023:9./ 4p,247p
978-4-12-102772-6
¥1,012〔税込〕

神は妄想である～宗教との決別～

リチャード・ドーキンス 著
早川書房
科学者の立場から、論理的に考察を重ね、神を信仰することについてあらゆる方向から鋭い批判を加える。非合理・迷信的な思考が幅をきかせる時代に、激しい抗議の声を上げる「脱宗教宣言」。

日本経済新聞 2023/10/07

2007:5./ 578p
978-4-15-208826-0
¥3,080〔税込〕

安倍晋三と日本の大戦略～21 世紀の「利益線」構想～

マイケル・J・グリーン 著
日経ＢＰ社
日本の新たなグランド・ストラテジーはどのように築かれていったのか。日本におけるグランド・ストラテジーの歴史的ルーツを明らかにしたうえで、安倍晋三によって推進された外交・安全保障戦略の大転換の過程を描く。

日本経済新聞 2023/10/07

2023:8./ 463p
978-4-296-11426-9
¥3,850〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ロバのスーコと旅をする

高田 晃太郎 著
河出書房新社
イランで 2 頭のオスロバと、トルコで“ソロツベ”と、モロッコで“スーコ”と…。ロバとの旅路を「太郎丸」名義で SNS に投稿し、話題を集めた著者が、彼らと歩いた日々、出会い、別れ、葛藤を綴る。

日本経済新聞 2023/10/07

2023:7./ 202p 図版 12 枚
978-4-309-03120-0
¥1,782〔税込〕

エモい世界史～「感情」はいかに歴史を動かしたか～

リチャード・ファース＝ゴッドビヒア 著
光文社
多くの歴史的事件を読み解くカギは「感情」にある。だが心の動きのとらえ方は、時代によって大きく異なる。心理学から美術史まで幅広い知識をもとに、時代・文化・地域で異なる「感情」の動き方を通して、世界史を概観する。

日本経済新聞 2023/10/07

2023:7./ 396p
978-4-334-96265-4
¥2,860〔税込〕

問うとはどういうことか～人間的に生きるための思考のレッスン～

梶谷真司 著
大和書房
あの炎上発言の真の深刻さ、人生がつらい時の乗り越え方、社会問題への対処法…。“適切な問い”さえ立てれば、あらゆる問題に答えが出せる。「問う」ことの理論や、実践的なワーク、問いを進める方法を伝える。

日本経済新聞 2023/10/07

2023:8./ 215p
978-4-479-39410-5
¥1,760〔税込〕

存在と時間<上>(ちくま学芸文庫)

マルティン・ハイデッガー 著
筑摩書房
哲学の根本課題、存在の問題を、現存在としての人間の時間性の視界から解明した大著。刊行時すでに哲学の古典と称された 20 世紀の記念碑的著作。

日本経済新聞 2023/10/07

1994:6./ 528p
978-4-480-08137-7
¥1,320〔税込〕

存在と時間<下>(ちくま学芸文庫)

マルティン・ハイデッガー 著
筑摩書房
第一編で「現存在の準備的な基礎分析」をおえたハイデッガーは、この第二編では「現存在と時間性」として死の問題を問い直す。

日本経済新聞 2023/10/07

1994:6./ 496p
978-4-480-08138-4
¥1,320〔税込〕

言葉とは何か(ちくま学芸文庫)

丸山　圭三郎 著
筑摩書房
言語学・記号学についての優れた入門書。ソシュール研究の泰斗が、平易な語り口で言葉の謎に迫る。述語・人物解説、図書案内付き。

日本経済新聞 2023/10/07

2008:4./ 224p
978-4-480-09145-1
¥990〔税込〕

現代台湾クロニクル～2014-2023～

近藤　伸二 著
白水社
国際社会のなかで、なぜ台湾の存在感が高まっているのか? ベテランの台湾ウォッチャーが、政権運営、対中関係、外交、内政、経済、社会の 6 つのテーマでやさしく解説し、その背景を探る。機関紙『台湾協会報』連載を書籍化。

日本経済新聞 2023/10/07

2023:9./ 242p,3p
978-4-560-09373-3
¥2,750〔税込〕

肥料争奪戦の時代～希少資源リンの枯渇に脅える世界～

ダン・イーガン 著
原書房
肥料として農業を支え、人類に不可欠な元素リン。そのリンは世界的に枯渇し、争奪戦が起きる一方で、海洋や河川に垂れ流され、水質を汚染している。世界が注視するリン問題を、ピューリッツァー賞ファイナリストが追及する。

日本経済新聞 2023/10/07

2023:7./ 269p,16p
978-4-562-07296-5
¥3,080〔税込〕

賃金の日本史～仕事と暮らしの一五〇〇年～(歴史文化ライブラリー 575)

高島　正憲 著
吉川弘文館
奈良時代の日本最古の賃金記録から明治期の職人の収入まで。史料を博捜し、昔の人びとの賃金の高さや生活水準に迫る分析手法を丹念に解説。1500 年にわたる日本の賃金史を数字とデータで読み解く。

日本経済新聞 2023/10/07

2023:9./ 6p,309p
978-4-642-05975-6
¥2,200〔税込〕

女たちの独ソ戦～彼女たちはなぜ戦場へ行ったか～

ロジャー・D・マークウィック／ユーリディス・シャロン・カルドナ 著
垣内出版
第二次世界大戦時、数十万のソ連女性が戦場に赴いた。その規模と戦争への直接参加の点で、他の国に例がない。「絶滅戦争」の地獄で彼女らは何を見たか。なぜソ連は特異だったのか。戦間期にさかのぼり、その要因を解き明かす。

日本経済新聞 2023/10/07

2023:7./ 13p,528p
978-4-7734-2049-4
¥4,400〔税込〕

意識する心〜脳と精神の根本理論を求めて〜

デイヴィッド・J.チャーマーズ 著
白揚社
意識とは何か。理論らしい理論と呼べるようなもののない分野に挑み、一種の二元論である意識の理論を大胆に主張する。彗星のように現れた心脳問題の旗手が、世界中の脳科学・哲学・認知科学者を震撼させた渾身の論考。

日本経済新聞 2023/10/07

2001:12./ 508p
978-4-8269-0106-2
¥5,280〔税込〕

現代詩ラ・メールがあった頃〜1983.7.1-1993.4.1〜

棚沢永子 著
書肆侃侃房
1980 年代、ふたりの女性詩人が男性主導の文芸シーンに一石を投じるべく立ち上がり、『現代詩ラ・メール』を創刊。女たちの発表の場を作り出し、新人たちを発見し育みながら、詩の大海原を航海し続けた 10 年間の記録。

日本経済新聞 2023/10/07

2023:9./ 255p
978-4-86385-585-4
¥2,200〔税込〕

検証ナチスは「良いこと」もしたのか?(岩波ブックレット No.1080)

小野寺 拓也、田野 大輔 著
岩波書店
アウトバーンを建設し失業率を下げ、進んだ福祉政策や家族支援政策を導入したナチス。功績とされがちな事象をとりあげ、ナチズム研究の蓄積とともに「ナチスは良いこともした」という言説の事実性や文脈を検証する。

日本経済新聞 2023/10/07、朝日新聞 2023/10/14

2023:7./ 119p
978-4-00-271080-8
¥902〔税込〕

首都防衛(講談社現代新書 2717)

宮地 美陽子 著
講談社
首都直下地震、富士山噴火、南海トラフ巨大地震、弾道ミサイル、気象災害…命を守るために、何をやるべきか。最新データや数々の専門家の知見から「最悪の被害想定」を明らかにする。

日本経済新聞 2023/10/07、読売新聞 2023/10/22

2023:8./ 222p
978-4-06-533085-2
¥1,012〔税込〕

世界文学をケアで読み解く

小川公代 著
朝日新聞出版
現代人が失いつつある<ケアの倫理>は世界の文学にあふれている。弱者と暴力と共生、SF 的想像力、新しい男性性、死者の魂を手がかりに、ケアの思想的な源を探り、世界の文学を読み直す。『小説トリッパー』連載を加筆修正。

日本経済新聞 2023/10/14

2023:8./ 233p
978-4-02-251929-0
¥1,870〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

剣術修行の廻国旅日記(朝日文庫　な 47-5)

永井義男 著
朝日新聞出版
千葉周作の玄武館、斎藤弥九郎の練兵館など江戸の有名道場の実力は? 江戸、東北、九州の道場を歩いた佐賀藩士・牟田文之助の日記から、幕末の剣術修行の実態を明らかにする。

日本経済新聞 2023/10/14

2023:9./ 381p
978-4-02-262081-1
¥1,100〔税込〕

777

伊坂　幸太郎 著
KADOKAWA
やることなすことツキに見放されている殺し屋・七尾。通称「天道虫」と呼ばれる彼が請け負ったのは、超高級ホテルの一室にプレゼントを届けるという「簡単かつ安全な仕事」のはずだったのだが…。

日本経済新聞 2023/10/14

2023:9./ 293p
978-4-04-114147-2
¥1,870〔税込〕

ウクライナのサイバー戦争(新潮新書 1007)

松原 実穂子 著
新潮社
IT 人材受刑者を活用するロシアと、「サイバー義勇兵」が結集するウクライナ。元々は「サイバー意識低い系」だったウクライナが、なぜロシアと互角以上に戦っているのか。サイバー専門家による、リアルタイムの戦況分析。

日本経済新聞 2023/10/14

2023:8./ 223p
978-4-10-611007-8
¥880〔税込〕

「脳コワさん」支援ガイド(シリーズケアをひらく)

鈴木　大介 著
医学書院
高次脳機能障害、発達障害、認知症、うつ…。「脳コワさん」の生きる世界を当事者が解説。全援助職に望む支援姿勢、「聞き取りの壁」「受容の壁」といった 4 つの壁に援助職ができることなどを綴る。テキストデータ引換券付き。

日本経済新聞 2023/10/14

2020:5./ 212p
978-4-260-04234-5
¥2,200〔税込〕

勇気ある女性たち～性暴力サバイバーの回復する力～

デニ・ムクウェゲ（Dr Denis Mukwege） 著
大月書店
私が女性を擁護するのは、女性が私と対等だからだ-。コンゴで性暴力、性差別と闘うデニ・ムクウェゲ医師の実践記。社会の矛盾に立ち向かうサバイバーの姿から、性差別克服を探求する。

日本経済新聞 2023/10/14

2023:7./ 364p
978-4-272-35059-9
¥2,750〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

よるべない 100 人のそばに居る。～<救護施設ひのたに園>とぼく～

御代田 太一 著
河出書房新社
派遣切りにあった人、依存症の人、記憶喪失の人、障害のある人…。日常生活を営むのが難しい人の“最後のセーフティーネット”救護施設に飛び込んだ新米生活支援員と、一人ひとりとの出会いを綴る。

日本経済新聞 2023/10/14

2023:6./ 206p
978-4-309-23136-5
¥1,782〔税込〕

魂を失った都～ウィーン 1938 年～(叢書・ウニベルシタス　1157)

マンフレート・フリュッゲ 著
法政大学出版局
19 世紀末～20 世紀初頭、反ユダヤ主義の温床となったウィーン。オーストリア国家を自殺に追いやったナチスによる併合はなぜ、国民から歓呼で迎えられたのか。思想家・政治家らの動向を跡づけ、時代全体をパノラマで描く。

日本経済新聞 2023/10/14

2023:8./
8p,476p,36,19p
978-4-588-01157-3
¥5,500〔税込〕

匂いが命を決める～ヒト・昆虫・動植物を誘う嗅覚～

ビル・S・ハンソン 著
亜紀書房
ヒト、昆虫、動物、魚、草木、花など、多様な生物の「生命維持」と「種族繁栄」に大きな役割を果たしている嗅覚。匂いを介したコミュニケーションで命をつなぐ生き物たちの驚くべき物語とその未来の可能性を紹介する。

日本経済新聞 2023/10/14

2023:9./ 321p
978-4-7505-1813-8
¥2,860〔税込〕

唯が行く!～当事者研究とオープンダイアローグ奮闘記～

横道　誠 著
金剛出版
双極性障害(かもしれない)大学生・唯は自助グループを切り盛りするなかで仲間と出会い、当事者研究とオープンダイアローグに目覚め…。ユニークな世界観を味わいながら当事者研究とオープンダイアローグを楽しく学べる。

日本経済新聞 2023/10/14

2022:2./ 295p,6p
978-4-7724-1876-8
¥2,640〔税込〕

新型コロナウイルス ナースたちの現場レポート

日本看護協会出版会編集部 編
日本看護協会出版会
COVID-19 により世界は一変した-。仕事への使命感、未知のウイルスへの恐怖、差別・偏見に対する怒りや悲しみ、大切な人への思い…。医療職であるとともにひとりの人間であるナース 162 人が激動の 2020 年を語る。

日本経済新聞 2023/10/14

2021:3./ 10p,744p
978-4-8180-2325-3
¥2,860〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

引き裂かれた海～長崎・国営諫早湾干拓事業の中で～(論創ノンフィクション 042)

吉崎健 著
論創社
動き出したら止まらない巨大公共事業。翻弄される住民。激変する自然環境。なぜ干拓は造られたのか。そこに暮らす漁民や農民はどんな思いなのか。諫早湾干拓の問題を取材を通し明らかにする。NHK ETV 特集を元に書籍化。

日本経済新聞 2023/10/14

2023:9./ 235p
978-4-8460-2238-9
¥1,980〔税込〕

数の値打ち～グローバル情報化時代に日本文学を読む～

ホイト・ロング 著
フィルムアート社
データ・サイエンスの影響をうけた北米発の<デジタル・ヒューマニティーズ>の手法をつまびらかにする入門書。テクノロジーを駆使して日本文学の膨大なテキストを解析し、言語やテキストにひそむ人間の認識の問題にせまる。

日本経済新聞 2023/10/14、産経新聞 2023/10/22

2023:8./ 397p,16p
978-4-8459-2130-0
¥4,400〔税込〕

思い出すこと(CREST BOOKS)

ジュンパ・ラヒリ 著
新潮社
ローマの家具付きアパートで見つけた「ネリーナのノート」には、ラヒリによく似た謎の女性による詩の草稿が残されていた。彼女の詩に惹きつけられたラヒリは、友人である研究者マッジョに編纂を託し…。かつてない自伝的作品。

日本経済新聞 2023/10/14、毎日新聞 2023/10/14

2023:8./ 221p
978-4-10-590190-5
¥2,200〔税込〕

推し活英語～世界が広がる～

学研プラス 編
学研プラス
「推し」「沼」「尊い」などの推し活必修単語や、「待って無理しんどい」「考察がはかどる」といったフレーズなど、SNS やオタク同士の会話などでよく使われる英語表現を多数収録。音声をダウンロードできる QR コード付き。

日本経済新聞 2023/10/21

2022:3./ 176p
978-4-05-305430-2
¥1,500〔税込〕

推し活韓国語～世界が広がる～

柳志英／南嘉英 著
学研
「推し」「入隊」といった単語から、「MV がエモい」といったフレーズまで、SNS やオタク同士の会話などでよく使われる韓国語表現を多数収録。「推し活英語」の姉妹編。音声をダウンロードできる QR コード付き。

日本経済新聞 2023/10/21

2023:3./ 199p
978-4-05-305642-9
¥1,650〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

陸王(集英社文庫 い 73-2)

池井戸　潤 著
集英社
埼玉県行田市にある老舗足袋業者「こはぜ屋」の四代目社長は、会社存続のために足袋製造の技術を生かしたランニングシューズの開発を思い立ち…。従業員 20 名の地方零細企業が一世一代の大勝負に打って出る!

日本経済新聞 2023/10/21

2019:6./ 750p
978-4-08-745883-1
¥1,100〔税込〕

浄瑠璃を読もう

橋本 治 著
新潮社
近代日本人も近代小説も、ここに始まる! 「仮名手本忠臣蔵」「義経千本桜」から「冥途の飛脚」まで、最高の案内人とともに主要 8 作品を精読し、浄瑠璃の面白さを再発見する。『考える人』掲載を書籍化。

日本経済新聞 2023/10/21

2012:7./ 444p
978-4-10-406113-6
¥2,530〔税込〕

京都～未完の産業都市のゆくえ～(新潮選書)

有賀 健 著
新潮社
「京料理が和食の代表」「インバウンドで大儲け」…これは本当に正しいのか? 地元の「洛中」礼賛一辺倒に疑問を持つ京大出身の経済学者が、「千年の都」が辿った特異な近現代の軌跡を、統計データを駆使して分析する。

日本経済新聞 2023/10/21

2023:9./ 286p
978-4-10-603901-0
¥1,925〔税込〕

野蛮な来訪者～RJR ナビスコの陥落～<上>

ブライアン・バロー、ジョン・ヘルヤー 著
ＮＨＫ出版
日本経済新聞 2023/10/21

1990:9./ 448p
978-4-14-005161-0
¥2,136〔税込〕

野蛮な来訪者～RJR ナビスコの陥落～<下>

ブライアン・バロー、ジョン・ヘルヤー 著
ＮＨＫ出版
日本経済新聞 2023/10/21

1990:9./ 406p
978-4-14-005162-7
¥2,136〔税込〕

これからの「正義」の話をしよう～いまを生き延びるための哲学～(ハヤカワ文庫 NF 376)

マイケル・サンデル 著
早川書房
正解のない究極の難問に挑み続ける、ハーバード大学の超人気哲学講義"JUSTICE"。NHK「ハーバード白熱教室」とともに社会現象を巻き起こした大ベストセラー、待望の文庫化。

日本経済新聞 2023/10/21

2011:11./ 475p
978-4-15-050376-5
¥990〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

一九八四年　新訳版(ハヤカワ epi 文庫　53)

ジョージ・オーウェル 著
早川書房
〈ビッグ・ブラザー〉率いる党が支配する超全体主義的近未来。ウィンストン・スミスは真理省記録局に勤務する党員で、歴史の改竄が仕事だった。しかし彼は、以前より完璧な屈従を強いる体制に不満を抱いていた。

日本経済新聞 2023/10/21

2009:6./ 511p
978-4-15-120053-3
¥990〔税込〕

家政婦の歴史(文春新書　1414)

濱口 桂一郎 著
文藝春秋
「家庭のなかの労働者」である家政婦はいつ誕生したのか。1910 年代末、ある女性が創始したニュービジネス「派出婦会」の成功、GHQ の「正義の刃」によって狂わされた運命の歯車など、100 年余の捩れた歴史を辿る。

日本経済新聞 2023/10/21

2023:7./ 255p
978-4-16-661414-1
¥1,100〔税込〕

運命の人<1>(文春文庫)

山崎 豊子 著
文芸春秋
昭和 46 年春、特ダネ記者の弓成亮太は沖縄返還交渉にまつわる密約の存在に勘づく。熾烈なスクープ合戦の中、彼はある女性と……

日本経済新聞 2023/10/21

2010:12./ 278p
978-4-16-755606-8
¥715〔税込〕

ビジネス教養としての気象学

隈健一 著
日経ＢＰ社
そもそも天気予報はどのように行われるのか? 様々な気象データはビジネスにどう活用できるか? 地球温暖化の「適応策」のカギは? 元・気象研究所長が気象学の最前線を講義する。

日本経済新聞 2023/10/21

2023:9./ 239p
978-4-296-11697-3
¥1,980〔税込〕

母がゼロになるまで～介護ではなく手助けをした 2 年間のはなし～

リー・アンダーツ 著
河出書房新社
風呂に入らないのも、ゴミ屋敷になるのも、お金を借りまくるのも、支援を拒否するのも、すべて母なりの理由があった-。困っていた母と困らされた私の生の記録。note 掲載を書籍化。

日本経済新聞 2023/10/21

2023:9./ 217p
978-4-309-20891-6
¥1,837〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

エネルギー危機の深層～ロシア・ウクライナ戦争と石油ガス資源の未来～ (ちくま新書　1748)

原田 大輔 著

筑摩書房

今世紀最大の危機はなぜ起きたか。ウクライナ侵攻とそれを契機とする制裁の応酬について、エネルギーの視点から徹底的に読み解くことで、石油・天然ガスをめぐる最新地図と、その深層にある流れを明らかにする。

日本経済新聞 2023/10/21

2023:9./ 270p
978-4-480-07580-2
¥1,012〔税込〕

MAKE NO SMALL PLANS～人生を変える新しいチャンスの見つけ方～

エリオット・ビズノー／ブレット・リーヴ／ジェフ・ローゼンタール／ジェレミー・シュワルツ 著

東洋経済新報社

ビル・クリントン、ジェフ・ベゾスなどが参加する、世界最大の起業家コミュニティ「サミット」。4 人の無名な若者が、つねに身の丈を超えたことを考えながら、サミットを立ち上げるまでの波瀾万丈を描くノンフィクション。

日本経済新聞 2023/10/21

2023:9./ 13p,359p
978-4-492-04740-8
¥1,980〔税込〕

日本人の勝算～人口減少×高齢化×資本主義～

デービッド・アトキンソン 著

東洋経済新報社

「日本人の優秀さ」こそ、この国の宝だ-。在日 30 年、日本を愛する伝説のアナリストが、日本経済に関する外国人エコノミストの論文等の分析結果から人口減少・高齢化の影響を検証し、日本人の未来を示す。

日本経済新聞 2023/10/21

2019:1./ 323p
978-4-492-39646-9
¥1,650〔税込〕

日本企業の勝算～人材確保×生産性×企業成長～

デービッド・アトキンソン 著

東洋経済新報社

人口減少時代に入った以上、時代に合った経営に根本から変革しなければ、世界に誇れる日本の経営は取り戻せない。伝説のアナリストが日本企業のあるべき姿を見極め、日本経済の新しい時代をつくることに役立つ提言を行う。

日本経済新聞 2023/10/21

2020:3./ 409p
978-4-492-39652-0
¥1,760〔税込〕

入門マクロ経済学 第 6 版

中谷巌／下井直毅／塚田裕昭 著

日本評論社

マクロ経済学の基礎的な理論体系を学ぶための入門テキスト。章ごとに目的・ポイントを明示し、フローチャートや練習問題も掲載。近年のマクロ経済状況と、それを反映したマクロ経済理論の変化を積極的に取り入れて解説する。

日本経済新聞 2023/10/21

2021:3./ 8p,415p
978-4-535-55795-6
¥3,080〔税込〕

The Work of the Future～AI 時代の「よい仕事」を創る～

デヴィッド・オーター、デヴィッド・A・ミンデル、エリザベス・B・レイノルズ 著
慶應義塾大学出版会
マサチューセッツ工科大学が、機械化の最先端をいく保険、医療、物流・倉庫、製造業で労働者の代替がどの程度進んでいるかを調査し、それをもとに将来を予測。機械化で加速した労働者の格差を軌道修正する方法を提言する。

日本経済新聞 2023/10/21

2023:9./ 248p
978-4-7664-2913-8
¥2,860〔税込〕

母を失うこと～大西洋奴隷航路をたどる旅～

サイディヤ・ハートマン 著
晶文社
奴隷になるとは、奴隷制の後を生きるとはいかなることか。かつて奴隷が旅をした大西洋奴隷航路を遡り、歴史をはぎ取られ母を失った人びとの声をよみがえらせる、現代ブラック・スタディーズの古典的作品にして紀行文学の傑作。

日本経済新聞 2023/10/21

2023:9./ 374p
978-4-7949-7376-4
¥3,080〔税込〕

推しの素晴らしさを語りたいのに「やばい!」しかでてこない～自分の言葉でつくるオタク文章術～

三宅　香帆 著
ディスカヴァー・トゥエンティワン
自分の感想を言葉にする「ちょっとしたコツ」を知れば、自分だけの言葉で推しを語ることができる! SNS、ブログなどの発信方法ごとに、推しの素晴らしさを伝える具体的な文章術を紹介する。例文や Q&A なども掲載。

日本経済新聞 2023/10/21

2023:6./ 252p
978-4-7993-2950-4
¥1,760〔税込〕

ナマコは平気!目・耳・脳がなくてもね!～5 億年の生命力～

一橋和義 著
さくら舎
目も耳も脳も鼻も心臓もない! 内臓を吐き出しても皮膚を溶かしても体が 2 つにちぎれても生きられる! ナマコの魅力や生態を、解説を盛り込みながらストーリー形式で紹介する。

日本経済新聞 2023/10/21

2023:8./ 186p
978-4-86581-395-1
¥1,650〔税込〕

訂正可能性の哲学(ゲンロン叢書 014)

東 浩紀 著
ゲンロン
「正しさ」の時代に、誤ることの価値を考える。伝統的な哲学を新たに読み替え、ビッグデータからこぼれ落ちる「私」の固有性をすくい出す。「観光客の哲学」をさらに先に進める、著者 30 年の到達点。

日本経済新聞 2023/10/21

2023:8./ 359p
978-4-907188-50-4
¥2,860〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

恋ははかない、あるいは、プールの底のステーキ

川上 弘美 著
講談社
小説家のわたし、離婚と手術を経たアン、作詞家のカズ。カリフォルニアのアパートメンツで子ども時代を過ごした友人たちは、半世紀ほど後の東京で再会した-。たゆたうように心に届く大人の愛の物語。『群像』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2023/10/21、産経新聞 2023/10/29

2023:8./ 291p
978-4-06-532438-7
¥1,870〔税込〕

イスラム飲酒紀行(講談社文庫 た 116-4)

高野 秀行 著
講談社
タブーを暴きたいわけじゃない。酒が飲みたいだけなんだ! カタール、パキスタン、アフガニスタンなど、酒を禁じるイスラム圏における飲酒事情を、酒をこよなく愛する男が描いたルポルタージュ。

日本経済新聞 2023/10/28

2014:7./ 331p 図版 16p
978-4-06-277876-3
¥880〔税込〕

ジェンダー格差～実証経済学は何を語るか～(中公新書 2768)

牧野百恵 著
中央公論新社
歴史・文化・社会的に形成される男女の差異=ジェンダー。実証経済学の成果から就業、教育、歴史、結婚、出産など様々な事柄を取り上げ、格差による影響や解消後の可能性について、国際的視点から描く。

日本経済新聞 2023/10/28

2023:8./ 4p,230p
978-4-12-102768-9
¥990〔税込〕

うるさいこの音の全部

高瀬 隼子 著
文藝春秋
ゲームセンターで働く長井朝陽の日常は、ペンネームで書いた小説が新人賞を受賞してから軋みはじめる。小説と現実の境界があいまいになっていき…。表題作に「明日、ここは静か」を併録。『文學界』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2023/10/28

2023:10./ 262p
978-4-16-391761-0
¥1,760〔税込〕

チャット GPT vs.人類(文春新書 1413)

平 和博 著
文藝春秋
驚くほどの情報量を瞬時に処理し、「人間のような自然な応答」を返すチャットGPT。人びとの日常生活を根底から変えうるテクノロジーの「凄さ」と「怖さ」を伝える。著者ブログなどをもとに大幅に加筆し書籍化。

日本経済新聞 2023/10/28

2023:6./ 222p
978-4-16-661413-4
¥990〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

もしもし、アッコちゃん?～漫画と電話とチキン南蛮～

東村アキコ 著
光文社
電電公社勤めの一族に生まれ、漫画が大好きで漫画家を目指したアッコちゃんは…。アッコちゃんの成長をタテ糸に、日本の人気少女漫画の変遷と電話の進化をヨコ糸に、昭和末期から令和までの著者の半生を“笑い”とともに描く。

日本経済新聞 2023/10/28

2023:7./ 227p
978-4-334-95388-1
¥1,540〔税込〕

リペア～「使い捨て社会」から「修理・修復社会」へ～

ペーテル・エールディ／ジュジャ・スベテルスキー 著
日本評論社
お気に入りの車、家電、人間関係、国…。この世界のあらゆるものは、どんなときに修復をこころみ、あきらめるべきか? その可能性の範囲と限界を延べ、経済性や環境負荷という観点を超えたリペアの倫理的価値を説く。

日本経済新聞 2023/10/28

2023:8./ 18p,273p,31p
978-4-535-54058-3
¥2,970〔税込〕

現代中国の精神史的考察～繁栄のなかの危機～

栄剣 著
白水社
現代中国社会の危機と希望を同時に内包しているように見える習近平政権。ハンナ・アーレント、ハイデガーの思索を導きに、あるいはロナルド・コースの経済学を頼りに、現代中国を俯瞰する、精神史的考察。

日本経済新聞 2023/10/28

2023:9./ 254p,2p
978-4-560-09483-9
¥3,300〔税込〕

未来から来た男ジョン・フォン・ノイマン

アナニヨ・バッタチャリヤ 著
みすず書房
非ユークリッド幾何学、集合論、ゲーム理論…。自身の数学の才を応用できる新たな実用分野を探し続けたジョン・フォン・ノイマン。20 世紀科学史における異才にして天才、そして「悪魔の頭脳」と呼ばれた男の全仕事を鳥瞰。

日本経済新聞 2023/10/28

2023:9./ 13p,353p,51p
978-4-622-09642-9
¥3,960〔税込〕

AI の倫理リスクをどうとらえるか～実装のための考え方～

リード・ブラックマン 著
白揚社
「AI 倫理声明」に何を盛り込むべきか? 「AI 倫理委員会」をどう運営するか? AI 倫理の導入をめざす多くの企業が直面する問題へのアプローチ方法を、組織における倫理リスク軽減を支援してきた現場経験をもとに解説。

日本経済新聞 2023/10/28

2023:7./ 205p
978-4-8269-0247-2
¥3,630〔税込〕

ヒトは軍用 AI を使いこなせるか～新たな米中覇権戦争～

ジェームズ ジョンソン 著
並木書房
大国どうしの AI の軍備競争が本格化し、戦争の様相は大きく変わろうとしている。気鋭の戦略研究者が、AI 兵器が従来の核抑止論を根底から覆すメカニズムについて未来戦のシナリオを交えながら解き明かす。

日本経済新聞 2023/10/28

2023:6./ 361p
978-4-89063-435-4
¥2,420〔税込〕

長恨歌

王 安 憶 著
アストラハウス
1940 年代の虚栄の繁華、50～60 年代の困窮と苦難、そして 80 年代のロマン的悲劇…。上海を舞台に、美しき主人公の青春から死に至る 40 年の人生を通して、街の繁栄と虚栄を描いた長編小説。

日本経済新聞 2023/10/28

2023:9./ 643p
978-4-908184-46-8
¥3,520〔税込〕

春秋の花(講談社文芸文庫　お U4)

大西 巨人 著
講談社
西行、道元、正岡子規、石川啄木、有島武郎…。日本を代表する作家の詩歌や散文を春夏秋冬の四部に配分して収録。博覧強記の作家・大西巨人が内なる抒情と批評眼を駆使し編んだ詞華集。

毎日新聞 2023/10/07

2023:7./ 317p
978-4-06-532253-6
¥2,310〔税込〕

ぼっちな食卓～限界家族と「個」の風景～

岩村暢子 著
中央公論新社
好きなものを好きなところで好きなときに食べる。個人の自由を突き詰めたとき、家族はどうなっていくのか-。定点観測の場として食卓調査を行った家庭の 10 年後、20 年後を追跡し、超「個」社会の現実を明らかにする。

毎日新聞 2023/10/07

2023:9./ 253p
978-4-12-005691-8
¥1,870〔税込〕

ヒトミさんの恋

益田 ミリ 著
文藝春秋
14 歳下の後輩に恋をしてわかった、歳をとることの切なさと恋の尊さ-。『週刊文春』で連載中の「沢村さん家のこんな毎日」の登場人物のひとり、沢村ヒトミの“大人の恋”を描く。

毎日新聞 2023/10/07

2023:8./ 155p
978-4-16-391744-3
¥1,430〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

関東大震災朝鮮人虐殺の真相～地域から読み解く～

関原正裕 著
新日本出版社
関東大震災時に起きた朝鮮人虐殺事件。主にさいたま市見沼区染谷で起こった事件を扱い、虐殺の引き金になった県の「移牒」、異例の恩赦などを解説。戦後社会における調査・追悼、日本人の加害責任の自覚についても検討する。

毎日新聞 2023/10/07

2023:7./ 197p
978-4-406-06759-1
¥1,980〔税込〕

古代中国説話と真相(筑摩選書　0259)

落合 淳思 著
筑摩書房
酒池肉林、臥薪嘗胆、焚書坑儒…。古代中国の説話を信頼できる資料に拠って検証。貴族制が専制君主制に移行した春秋・戦国時代の社会制度、勢力バランス、法治システムを浮き彫りにする。

毎日新聞 2023/10/07

2023:7./ 350p
978-4-480-01778-9
¥1,980〔税込〕

悪口ってなんだろう(ちくまプリマー新書　432)

和泉 悠 著
筑摩書房
悪口とは一体なにか。本当はどのようなもので、何と混同されるのか…。悪口や攻撃的なことばを哲学や言語学といった学問分野の知恵を使って検討し、悪口という現象を解き明かすとともに、悪口とのつき合い方も示す。

毎日新聞 2023/10/07

2023:8./ 147p,11p
978-4-480-68459-2
¥880〔税込〕

無目的～行き当たりばったりの思想～

トム・ルッツ 著
青土社
無目的は我々を自由にする-。人間の基本的な性癖「無目的」を創造性の源として、効率的な思考や生産性の要求に対抗できるものとして擁護する著者の深い学識が、予期せぬ場所へ読者を導く書。無目的がテーマの短い文章で構成。

毎日新聞 2023/10/07

2023:7./ 197p
978-4-7917-7574-3
¥2,420〔税込〕

チク・タク・チク・タク・チク・タク・チク・タク・チク・タク・チク・タク・チク・タク・チク・タク・チク・タク・チク・タク(竹書房文庫　す 9-1)

ジョン・スラデック 著
竹書房
家事から医療までロボットを使うことが当たり前の世界。人間の安全のため、ロボットたちにはロボット三原則を遵守させるアシモフ回路が組み込まれていたが、チク・タクにはその回路が作動しておらず…。ロボット・ピカレスク。

毎日新聞 2023/10/07

2023:9./ 262p
978-4-8019-3667-6
¥1,485〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

弱さを愛せる社会へ～分断の時代を超える「令和の幸福論」～

野澤和弘 著
中央法規出版
若者・家庭・障害者などの視点から社会変化を見続けてきた著者が、劣化し続ける社会の現実とこれからの時代に必要な価値観の転換を“スロー”に考える。『毎日新聞』ウェブサイト連載をもとに大幅に加筆修正し、再構成。

毎日新聞 2023/10/07

2023:8./ 277p
978-4-8058-8945-9
¥1,870〔税込〕

庭のかたちが生まれるとき～庭園の詩学と庭師の知恵～

山内朋樹 著
フィルムアート社
京都北部の寺を訪ね、その作庭現場のフィールドワークから、庭の造形を考え、庭師の生態を観察し、庭のなりたちを記述した、新感覚の庭園論。フィルムアート社ウェブサイト『かみのたね』連載を改稿、書下ろしを加え単行本化。

毎日新聞 2023/10/07

2023:8./ 381p
978-4-8459-2300-7
¥2,860〔税込〕

ミーのどうぶつ BOOK

ハリエット・ヴァン・レーク 著
朔北社
ブタもウマも、メンドリもポニーも、メウシやカタツムリだって、みんなミーの親友です。不思議な〇をつけたスティップさんと、やさしい農夫のおじさんも-。毎日、動物と一緒に過ごす女の子、ミーの 16 の物語。

毎日新聞 2023/10/07

2023:6./ 33p
978-4-86085-142-2
¥1,650〔税込〕

愛する言葉

岡本太郎、岡本敏子 著
イースト・プレス
「好きな人がいたら、真っ直ぐに見つめること」天才芸術家岡本太郎とそのパートナー岡本敏子。ふたりが遺した、激しく熱く純粋な、男が男のまま、女が女のまま、愛するためのメッセージ。

毎日新聞 2023/10/07

2006:6./ 181p
978-4-87257-655-9
¥1,100〔税込〕

つくる人になるために～若き建築家と思想家の往復書簡～

光嶋裕介／青木真兵 著
灯光舎
若き建築家と思想家が、些細な日常の出来事や思索をつぶさにみつめて綴った往復書簡。私たちにとって「つくる」とはなにかを問いかけ、つくる喜びについて対話を重ねながら、生き物として生きやすい社会を模索する。

毎日新聞 2023/10/07

2023:8./ 8p,233p
978-4-909992-03-1
¥2,420〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

宮本常一<抵抗>の民俗学～地方からの叛逆～

門田岳久 著
慶應義塾大学出版会
ポスト高度経済成長期の日本で疲弊する離島の人びとに寄り添い、彼らの自立を促すために奔走した宮本常一。たんなる民俗学者ではなく、地方の代弁者として活動した思想の核心に迫る。

毎日新聞 2023/10/07、日本経済新聞 2023/10/14

2023:8./ 392p,26p
978-4-7664-2903-9
¥3,300〔税込〕

本の栞にぶら下がる

斎藤 真理子 著
岩波書店
韓国文学翻訳の名手による読書エッセイ。埋もれた詩人や作家に光を当て、疫病や戦争に向き合ってきた経験を紐解くなど、韓国文学に止まらない古今の本を取り上げながら、その普遍性を今に開く。『図書』連載を加筆し単行本化。

毎日新聞 2023/10/14

2023:9./ 212p
978-4-00-061610-2
¥1,980〔税込〕

J・M・クッツェー～世界と「私」の偶然性へ～(<英語>文学の現在へ)

田尻 芳樹 著
三修社
南アフリカ出身で 2003 年にノーベル文学賞を受賞した作家 J・M・クッツェーの全主要作品を解説、論評する。作品論に加え伝記的情報も盛り込んだ、評伝としても楽しめる一冊。

毎日新聞 2023/10/14

2023:3./ 343p
978-4-384-06045-4
¥3,740〔税込〕

熊の肉には飴があう(ちくま文庫　こ 57-1)

小泉 武夫 著
筑摩書房
鳥獣、川魚、山菜などを扱う名料理屋茶屋「右官屋権之丞」。その素材を活かし切る技法が想像を絶する一皿を生む。熊鍋、兎飯、筍鉄砲焼き、ヨシノボリたたき…。里山をまるごといただく 90 皿のうま汁小説。

毎日新聞 2023/10/14

2023:7./ 281p
978-4-480-43897-3
¥880〔税込〕

二人の美術記者～井上靖と司馬遼太郎～

ホンダ・アキノ 著
平凡社
新聞記者時代、美術と宗教を担当し、その後作家へと転身した共通点をもつ井上靖と司馬遼太郎。のちに国民的作家となったふたりの知られざる美術記者としての葛藤の日々、対照的な美へのまなざしを追う。

毎日新聞 2023/10/14

2023:9./ 254p
978-4-582-83932-6
¥2,640〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

デンマークに死す(ハーパーBOOKS M・マ 7・1)

アムリヤ・マラディ 著
ハーパーコリンズ・ジャパン
コペンハーゲンの私立探偵プレストは、元恋人の弁護士レイラから、イラク系移民による右派政治家メルゴー殺しの冤罪疑惑調査を依頼される。調べるうち、メルゴーがナチスに関する本を極秘出版しようとしていた事が判明し…。

毎日新聞 2023/10/14

2023:8./ 454p
978-4-596-52316-7
¥1,430〔税込〕

山岡鉄舟・高橋泥舟～もとの姿はかわらざりけり～(ミネルヴァ日本評伝選)

岩下　哲典 著
ミネルヴァ書房
幕末期、戊辰戦争の際に徳川慶喜の信頼のもと恭順の意向を実現するため奔走した山岡鉄舟と高橋泥舟。維新の影の功労者にして至誠の幕臣「幕末二舟」の波乱に満ちた生涯に迫る。

毎日新聞 2023/10/14

2023:8./ 17p,204p,6p
978-4-623-09578-0
¥3,080〔税込〕

自分のために料理を作る～自炊からはじまる「ケア」の話～

山口祐加／星野概念 著
晶文社
誰かのためにだったら作れるけれど、自分のために料理ができない-。そんな 6 人を著者が 3 カ月間「自炊コーチ」し、精神科医と共に気持ちの変化や発見についてインタビューし、自炊の効用を探る。レシピも収録。

毎日新聞 2023/10/14

2023:8./ 358p
978-4-7949-7378-8
¥1,870〔税込〕

DRAWING ドローイング～点・線・面からチューブへ～

鈴木　ヒラク 著
左右社
描く/書くことは生きることだ、いまここで未知を発掘することだ-。世界から注目されるアーティストが、芸術行為の根源を見つめ、書きつくす渾身のドローイング原論。作品の写真も多数収録。

毎日新聞 2023/10/14

2023:9./ 269p,10p
978-4-86528-384-6
¥2,640〔税込〕

ニューヨークでジャズ・ギタリストとして生きるために、ぼくが実践してきたシンプルなルール

高免 信喜 著
アルテスパブリッシング
単身渡米して 20 年。米国の有名ジャズ誌から「日本が輩出した最高のジャズ・ギタリスト」とよばれる著者が、ギターと音楽をとおして学んできた、自分らしい人生を送るためのヒントを紹介する。メルマガ連載を書籍化。

毎日新聞 2023/10/14

2023:7./ 223p,11p
978-4-86559-277-1
¥2,090〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

日吉台地下壕 大学と戦争

日吉台地下壕保存の会 編
亀岡敦子／阿久沢武史／都倉武之／安藤広道 著
高文研
戦後の 4 年間、慶應義塾大学日吉キャンパスは米軍に接収され、日吉の丘には地下軍事施設群が残された。キャンパスの戦争遺跡を通して、ここで起こった出来事、ここにいた人々や関係する事柄を、時間と空間を超えて検証する。

毎日新聞 2023/10/14

2023:9./ 222p
978-4-87498-856-5
¥2,090〔税込〕

男が男を解放するために(ele‐king books)

杉田俊介 著
Ｐヴァイン
「男らしさ」から逃れられない、誰からも愛されない、自分の弱さを認められない…。男性の生きづらさと向き合った名著「非モテの品格」を大幅に加筆して復刊。「弱者男性」問題を問い直す。

毎日新聞 2023/10/14

2023:9./ 318p
978-4-910511-54-2
¥1,980〔税込〕

ハリー・ポッターと賢者の石

J.K.ローリング 著
静山社
緑の眼に黒い髪、そして額に稲妻型の傷を持つ、魔法学校 1 年生のハリー・ポッターが、邪悪な力との運命の対決に打ち勝って行く、夢と冒険、友情の物語。スマーティーズ賞ほか受賞作。

毎日新聞 2023/10/14

1999:12./ 462p
978-4-915512-37-7
¥2,420〔税込〕

井筒俊彦～起源の哲学～

安藤 礼二 著
慶應義塾大学出版会
井筒俊彦とは、「意味」の探求者だった-。最高峰の哲学者、井筒俊彦の謎に満ちた生涯、闇と光を孕む哲学の全貌を、20 年に及ぶ研究とインタビューを元に描き切る。

毎日新聞 2023/10/14、日本経済新聞 2023/10/28

2023:9./ 8p,284p
978-4-7664-2842-1
¥2,750〔税込〕

星が丘～秋山百合子句集～

秋山百合子 著
ふらんす堂
雨女ゐて草の芽のよく伸びる 先生へ白檀を焚く夜寒かな 運命の出合ひなどなく水中花 エンドロールに猫の名ずらりあたたかし 姉あらばこの人と思ふ萩の花 2005～2022 年の 350 句を収めた第 3 句集。

毎日新聞 2023/10/16

2023:6./ 188p
978-4-7814-1547-5
¥2,750〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

伴侶～句集～

中岡　毅雄 著
朔出版
草原に石鹸玉いま草のいろ 折れさうなこころの柱鳥雲に あをぞらのゆつくりながれ薄氷 すみれ草妻につきたる嘘ひとつ すきとほるやうなにほひの雪兎 約13年間の作品をまとめた第5句集。

毎日新聞 2023/10/16

2023:8./ 159p
978-4-908978-96-8
¥2,970〔税込〕

陽だまり～安西水丸が遺した最後の抒情漫画集～

安西 水丸 著
講談社
個性的な才人・安西水丸が最後に遺した、ちょっとエロくて胸に染み入る抒情漫画集。表題作はじめ「アメンボ」「冬の客」など全4編ほか、村上春樹らによるエッセイも収録する。『小説現代』掲載などに書き下ろしを加える。

毎日新聞 2023/10/21

2023:8./ 121p
978-4-06-530469-3
¥1,980〔税込〕

創造論者 vs.無神論者～宗教と科学の百年戦争～(講談社選書メチエ　790)

岡本 亮輔 著
講談社
宗教と科学の長い戦争、なかでも創造論者と無神論者の戦いは、21世紀に入ってますます過熱している。おもに欧米で激しく展開する両者の戦いに密着し、信念をぶつけ合う人間たちのドラマを描き出す。

毎日新聞 2023/10/21

2023:9./ 267p
978-4-06-533247-4
¥1,980〔税込〕

最愛の

上田 岳弘 著
集英社
久島は、情報も欲望もそつなく処理する「血も涙もない的確な現代人」として日常を生きている。だが、学生時代に手紙を交わし続けた望未だけが、人生唯一の愛として、心を離れない…。『すばる』連載に加筆・修正。

毎日新聞 2023/10/21

2023:9./ 353p
978-4-08-771840-9
¥2,310〔税込〕

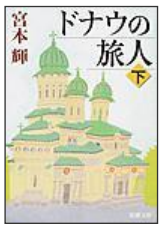
ドナウの旅人<上> 改版(新潮文庫 み-12-3)

宮本 輝 著
新潮社
夫を捨てて出奔した母・絹子。母から「ドナウ河に沿って旅をしたい」という手紙を受け取った麻沙子は西ドイツへ。母が男と一緒だと知った彼女は、ドイツの青年・シギィと共に2人を追う。母と娘それぞれの愛と再生の旅を描く。

毎日新聞 2023/10/21

2016:9./ 551p
978-4-10-130703-9
¥935〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO



ドナウの旅人<下> 改版(新潮文庫 み-12-4)

宮本 輝 著
新潮社
絹子は娘・麻沙子の説得にも応じず、ドナウの終点、黒海まで行くと言い張る。絹子の若い愛人・長瀬の旅の目的に不安を感じた麻沙子とシギィは、2 人に同行することに。母と娘それぞれの愛と再生の旅を描く。

毎日新聞 2023/10/21

2016:9./ 561p
978-4-10-130704-6
¥869〔税込〕

君が手にするはずだった黄金について

小川 哲 著
新潮社
片桐は高校の同級生。怪しげな情報商材を売りつけていたが、今や有名投資家。ある日、片桐のブログが炎上しはじめ…。「僕」が怪しげな人物たちと遭遇する 6 つの連作短篇集。『小説新潮』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

毎日新聞 2023/10/21

2023:10./ 243p
978-4-10-355311-3
¥1,760〔税込〕

ホモ・サピエンスの宗教史～宗教は人類になにをもたらしたのか～(中公選書 142)

竹沢尚一郎 著
中央公論新社
宗教はどのようにして誕生し、人間の歴史の中でどのように変化してきたのか。宗教を生み出した共同性の経験から宗教改革まで、宗教の変化を追うことで、人間の歴史をたどりなおした壮大な書。

毎日新聞 2023/10/21

2023:10./ 441p
978-4-12-110143-3
¥2,860〔税込〕

見ること

ジョゼ・サラマーゴ 著
河出書房新社
突然目が見えなくなる感染症が流行した 4 年後、同じ国の首都の総選挙で大量の白票が投じられる。政府は非常事態宣言を発し、首都を封鎖する。政府組織が市外に脱出する一方、首都では市民たちの自治が始まるが…。

毎日新聞 2023/10/21

2023:7./ 300p
978-4-309-20886-2
¥3,520〔税込〕

照子と瑠衣

井上荒野 著
祥伝社
照子と瑠衣。ともに 70 歳。妻を見下す夫を捨て、老人マンションの陰湿な人間関係を見限った。新天地に来て、ストレスのない暮らしを手に入れたふたりは、自分の人生を取り戻していき…。『コフレ』連載に加筆、訂正。

毎日新聞 2023/10/21

2023:10./ 216p
978-4-396-63651-7
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

紛争地の歩き方～現場で考える和解への道～(ちくま新書　1721)

上杉　勇司 著
筑摩書房
殺しあいをしてきた人々は、どのように仲直りをするのか。世界各地の紛争地で、現地の平和に貢献する活動や研究を行ってきた国際紛争研究者が、紛争の現場で見て、感じ、考えたことをもとに、和解の物語を綴る。

毎日新聞 2023/10/21

2023:4./ 350p
978-4-480-07550-5
¥1,210〔税込〕

フーコーと精神医学～精神医学批判の哲学的射程～

蓮澤優 著
青土社
「狂気」の治療は本当に必要なのか。「正常な人間」は存在するのか。臨床医の著者が、フーコーにとっての狂気の問題、精神医学の問題を、彼の思索の歩み全体のなかに位置づけ、検討する。

毎日新聞 2023/10/21

2023:9./ 398p,24p
978-4-7917-7570-5
¥3,960〔税込〕

欲望という名の音楽～狂気と騒乱の世紀が生んだジャズ～

二階堂 尚 著
草思社
戦争、売春、ドラッグ、犯罪、人種差別…。ジャズの歴史とは人間の<業>の歴史である-。社会の暗部が垣間見える興味深いエピソードに満ちた 20 世紀日米ジャズ裏面史。ウェブ・メディア『ARBAN』連載を再構成し書籍化。

毎日新聞 2023/10/21

2023:7./ 357p
978-4-7942-2642-6
¥2,640〔税込〕

数学者たちの黒板

ジェシカ・ワイン 著
草思社
なぜ数学者には黒板が必要なのか。フィールズ賞受賞者を含む数学者 109 人の板書の写真と、その黒板にまつわるエッセイを収録する。数学者たちの黒板への情熱に溢れた本。

毎日新聞 2023/10/21

2023:7./ 239p
978-4-7942-2657-0
¥3,850〔税込〕

枯木ワンダーランド～枯死木がつなぐ虫・菌・動物と森林生態系～

深澤遊 著
築地書館
枯木の表面や幹の中では、生き物たちの活気あふれる営みが繰り広げられている。枯木を利用する生き物たちの暮らしから、倒木更新と菌類の関係、枯木の存在が炭素貯留に役立つ仕組みまで、その知られざる自然誌を解き明かす。

毎日新聞 2023/10/21

2023:6./ 343p 図版 16p
978-4-8067-1653-2
¥2,640〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

まぼろしの枇杷の葉蔭で～祖母、葛原妙子の思い出～

金子冬実 著
書肆侃侃房
「幻視の女王」とも評された、戦後短歌史を代表する歌人、葛原妙子。彼女には家族にしか見せなかった別の姿があった-。チャーミングで愛おしい、「異形の歌人」の横顔を綴る。

毎日新聞 2023/10/21

2023:9./ 180p
978-4-86385-590-8
¥1,760〔税込〕

Savoir & Faire 土

エルメス財団 著
岩波書店
私たちの身近な素材「土」に、アート・歴史・建築・民俗学などからアプローチする、エルメス財団「スキル・アカデミー」のプログラム。フランス語版から精選した論考の邦訳に、日本語版オリジナルの書き下ろし等を加える。

毎日新聞 2023/10/28

2023:8./ 406p
978-4-00-023907-3
¥2,970〔税込〕

存在のすべてを

塩田武士 著
朝日新聞出版
平成 3 年に発生した誘拐事件から 30 年。新聞記者の門田は旧知の刑事の死をきっかけに被害男児の「今」を知る。事件の真実を求め再取材を重ねた結果、ある写実画家の存在が浮かび上がり…。『週刊朝日』掲載を改題・加筆修正。

毎日新聞 2023/10/28

2023:9./ 464p
978-4-02-251932-0
¥2,090〔税込〕

心に、光を。～不確実な時代を生き抜く～

ミシェル・オバマ 著
KADOKAWA
どんな世界に暮らしたい? 誰を信頼する? 子どもはどうやって大人になる? 人生の大きな問題に、わかりやすい解決策なんてない。不安の多い世界との向き合い方を、元米国ファーストレディが語る。

毎日新聞 2023/10/28

2023:9./ 355p
978-4-04-113720-8
¥2,640〔税込〕

深すぎてヤバい宇宙の図鑑～宇宙のふしぎ、おもしろすぎて眠れない!～

本間 希樹 著
講談社
138 億年前、宇宙はほんの小さな目に見えない点だった! 時間や暦といった身近なことから宇宙のはじまりまで、世界初のブラックホール撮影に成功した EHT 代表がわかりやすく解説する宇宙の図鑑。

毎日新聞 2023/10/28

2023:9./ 159p
978-4-06-532472-1
¥1,540〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

青べか物語　第2版(新潮文庫　や-3-9)

山本 周五郎 著
新潮社
うらぶれた漁師町・浦粕に住み着いた私は、言葉巧みにボロ舟「青べか」を買わされ…。貧しく素朴だが、常識外れの狡猾さと愉快さを併せ持つ人々。その豊かな日々を巧妙な筆致で描く自伝的小説。

毎日新聞 2023/10/28

2019:1./ 388p
978-4-10-113484-0
¥693〔税込〕

ビヨンド・ザ・ストーリー～10-YEAR RECORD OF BTS～

カン・ミョンソク、ＢＴＳ 著
新潮社
デビュー10周年を迎えたBTS、初のオフィシャル・ブック。3年以上にわたる深層取材や7人へのインタビューをもとに、グループの軌跡とビハインドストーリーに迫る。動画を視聴できるQRコード付き。

毎日新聞 2023/10/28

2023:7./ 493p
978-4-10-507341-1
¥7,777〔税込〕

万物の黎明～人類史を根本からくつがえす～

デヴィッド・グレーバー／デヴィッド・ウェングロウ 著
光文社
人類の歴史は、これまで語られてきたものと異なり、遊び心と希望に満ちた可能性に溢れていた-。考古学・人類学の研究成果に基づき、閉塞感に包まれた現代社会に新たな可能性を提示する新・真・世界史。

毎日新聞 2023/10/28

2023:9./ 6p,643p,55p
978-4-334-10059-9
¥5,500〔税込〕

真の人間になる<上>(エクス・リブリス)

甘耀明 著
白水社
台湾原住民族のブヌン族の少年・ハルムトとハイヌナンは野球が好きで、1941年春、花蓮港中学に進学した。甲子園を目標に練習に耐え、地区予選を勝ち抜き春の甲子園選抜大会への出場権を手にするが、真珠湾攻撃が起こり…。

毎日新聞 2023/10/28

2023:8./ 265p
978-4-560-09086-2
¥2,640〔税込〕

真の人間になる<下>(エクス・リブリス)

甘耀明 著
白水社
1945年9月、捕虜を乗せた米軍の輸送機が台湾上空を飛行中、台風に襲われ、台東県に位置する三叉山の付近に墜落した。山に詳しいハルムトは捜索を頼まれるが…。「三叉山事件」をモチーフに、ブヌン族の少年の成長を描く。

毎日新聞 2023/10/28

2023:8./ 256p
978-4-560-09087-9
¥2,640〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

少女、女、ほか

バーナディン・エヴァリスト 著
白水社
子ども時代のレイプ、小さな町での差別、エリートとなった娘との不仲…。時代も背景も様々な 12 人の英国黒人女性がそれぞれの人生を振り返り、乗り越えてきた苦難をウィットに富んだ斬新な文体で語る。

毎日新聞 2023/10/28

2023:10./ 525p
978-4-560-09366-5
¥4,950〔税込〕

聞き書き・関東大震災

森 まゆみ 著
亜紀書房
1923 年 9 月 1 日に起きた関東大震災。著者が地域雑誌『谷根千』をはじめたころ、町にはまだ震災を体験した人びとが多くいた。それらの声とその界隈に住んでいた文学者らの日記等の膨大な資料を繙き、大震災を振り返る。

毎日新聞 2023/10/28

2023:8./ 339p
978-4-7505-1809-1
¥2,200〔税込〕

ジェンダー目線の広告観察

小林美香 著
現代書館
コンプレックスを刺激する脱毛・美容広告、バリエーションの少ない「デキる男」像…。ジェンダーの視点で公共空間にあふれる広告を読み解き、メディアリテラシーの必要性などを考察する。テキストデータ請求券付き。

毎日新聞 2023/10/28

2023:9./ 182p
978-4-7684-5950-8
¥2,200〔税込〕

命の嘆願書～モンゴル・シベリア抑留日本人の知られざる物語を追って～

井手　裕彦 著
集広舎
第二次世界大戦後、多くの日本兵らが旧ソ連全域とモンゴルに抑留された「シベリア抑留」。飢餓、極寒、重労働…。同胞の命の保証を求めて相手国政府と渡り合った日本人抑留者の闘いを、国家機密の壁を越えて追跡した記録。

毎日新聞 2023/10/28

2023:8./ 1295p
978-4-86735-048-5
¥9,680〔税込〕

超老芸術

櫛野 展正 著
クラーケンラボ
巨大な飛行機、木人、流木アート、新幹線をモチーフに自宅を改装…。高齢になってもなお精力的に表現活動を行う 25 人の芸術家たちの作品とインタビューを収録。『Web 版美術手帖』等掲載を書籍化。本体は背表紙なし糸綴じ。

毎日新聞 2023/10/28

2023:7./ 301p
978-4-910315-26-3
¥3,080〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO